

動物看護師の勤務実態に関するアンケート調査

---

# Report



2020年7月1日

一般社団法人 日本動物看護職協会

### 【アンケート調査の実施概要】

#### ○ 実施方法

インターネットを利用し、ウェブ上にアンケートの設問項目と回答画面を設置。オンラインで回答を収集し集計した。

※今回のアンケート調査では回答者個人、及び回答者の勤務先、所属などを特定する情報は収集していません。

#### ○ 設問数

31 問(最大 47 問)

#### ○ 回答受付期間

2020 年 1 月 10 日(金) ～ 2020 年 3 月 10 日(火)

#### ○ アンケートの告知・案内方法

1. (一社)日本動物看護職協会のホームページに掲示し、協会会員へメールで案内を送信。
2. 動物医療関連の団体・組織に協力を依頼し、ホームページやメールマガジン、及び会報誌、発行媒体などへ掲載してアンケートを案内。
3. 動物看護師養成専門学校に協力を依頼し、学校から卒業生へ向けてホームページ、メール等でアンケートを案内。

## 動物看護師の勤務実態に関するアンケート調査について

一般社団法人 日本動物看護職協会  
会長 横田 淳子

現在、国内の犬や猫の飼育頭数は、15歳未満の人口より多く、約1,850万頭<sup>(※1)</sup>とされています。また、近年では、家庭で飼育される動物の役割も変化し、家族の一員として国民の生活に深く関わっています。

家庭で暮らす動物を主に診療する動物診療施設は、全国に12,000施設以上あり<sup>(※2)</sup>、獣医師とともにその多くに動物看護師は従事しています。社会に潤いと活力を与える動物との共生社会において動物看護師は動物と飼育者の身近な存在として動物の健康、適正飼養の普及・推進に大きく貢献しています。

日本動物看護職協会では平成23年度に獣医療提供体制整備推進協議会内にて「獣医療の提供に係る獣医療補助者との連携・協力の在り方」に関する調査を実施しましたが、その後、動物看護師の勤務実態が把握できる調査はなされていません。

動物看護師の就業状況、勤務実態を把握することは職能団体として不可欠です。今回の調査は、多くの動物看護師が回答し易いようインターネットを利用し、質問数も厳選した内容としました。昨年、動物看護師の長年の悲願であった「愛玩動物看護師法」が制定され、動物看護師が「愛玩動物看護師」免許として国家資格となることを踏まえ、詳細な学歴や国家資格への意識、チーム動物医療体制の構築に向けて仕事に対する意識等も調査に加えました。

この結果を日本動物看護職協会では、今後の動物看護師の在り方や課題を検討するための貴重な基礎資料として参ります。

最後に本調査にご協力いただきました方々に感謝申し上げます。また調査・集計にご協力頂きました認定特定非営利活動法人 動物愛護社会化推進協会に厚く御礼申し上げます。

※1 一般社団法人ペットフード協会 2019年度 全国犬猫飼育実態調査より／2019年度の日本全国の犬の推計飼育頭数は約8,797千頭、猫は約9,778千頭。合計約18,575千頭。

※2 農林水産省 都道府県別飼育動物診療施設の開設届出状況より／2019年12月31日時点の小動物を対象にした動物病院数は12,116。

## 【結果概要】

- 今回のアンケート調査では全国の動物看護師 1455 人から回答が得られた。そのうち女性は 1359 人(93.4%)、男性は 96 人(6.6%)であった。年齢は 20～24 歳が最も多く 418 人(男女計・28.7%)、次いで30～34 歳の 305 人(21.0%)、25～29 歳の 291 人(20.0%)であった。(Q.1、Q.2、Q.3)
- 最終学歴は多岐に渡っているが、動物看護専門学校(2 年制、3 年制)を卒業した者が 909 人(62.5%)で半数以上を占めていた。(Q.4)
- 認定動物看護師資格については、取得している者が 1223 人(84.1%)に上り、民間資格ではあるが多くの動物看護師が取得していた。(Q.5)  
※参考／一般財団法人 動物看護師統一認定機構が認定する「認定動物看護師」の登録者数は 25,078 名 (2020 年 6 月 1 日現在)
- 回答者の内、現在動物看護師として就業している者は 1241 人(85.3%)であった。その 1241 人の雇用形態としては、常勤での正規雇用が 1072 人(86.4%)で大半を占めていた。(Q.6、Q.7)
- 動物看護師として現在就業している者の勤務年数は、「1 年未満～5 年まで」が 561 人(45.2%)、「6～10 年まで」301 人(24.3%)、「11～15 年まで」198 人(16.0%)、「16～20 年まで」111 人(8.9%)、「21 年以上」は 70 人(5.6%)で、勤務年数が 10 年までの者が約 70%を占めていた。(Q.8)
- 就業場所はほとんどが動物病院などの動物診療施設であり、動物看護師や獣医師と協働している者が多く、それ以外のスタッフとしてはトリマーや事務などの者が勤務していた。  
勤務する獣医師が 1 人の動物病院では、動物看護師数は 2～3 人が 198 人(53.6%)と約半数以上となり、全体の 1200 人の中でも、動物看護師数が 2～3 人の動物病院が 370 人(30.8%)と最も多い結果となった。  
獣医師数が増えるに応じて動物看護師数も増えていた。(Q.9、Q.9-2、Q.9-3、Q.9-4)
- 就業規則は 1021 人(82.3%)が「ある」と回答し、年次有給休暇も、「ある」「あるが何日あるか知らない」が 1044 人(84.1%)となった。(Q.10)
- 年次有給休暇の日数は「10 日」の回答が一番多く 365 人(34.9%)、次に「14 日以上」が 281 人(26.9%)となった。年次有給休暇以外の法定休暇(産前産後休暇・育児休暇・子の看護休暇・生理休暇・介護休暇)の取得は 156 人(12.6%)であった。(Q.11、Q.11-2、Q.12、Q.12-2)
- 1週間の勤務日数は、「5 日」と回答した 660 人(53.2%)が最も多く、次いで「5.5 日」が 203 人(16.4%)であった。1 日の勤務時間は「8～9 時間未満」が最も多く 324 人(26.1%)、「9～10 時間未満」が 237 人(19.0%)、「10～11 時間未満」が 164 人(13.2%)、「7～8 時間未満」が(13.1%)と続いた。  
これらの回答から1週間に 40 時間以上勤務している者が多いことが推察される。(Q.14、Q.15)
- 給与の形態では「月給」が 1069 人(86.1%)と最も多く、金額は、「15～20 万円未満」が 485 人(39.1%)、「20～25 万円未満」が 258 人(20.8%)、「12～15 万円未満」が 163 人(13.1%)と続き、「12 万円未満」が 29 人(2.3%)であった。(Q.16、Q.16-2)
- 賞与は 957 人(77.1%)が「ある」と回答した。その額では 10 万円以上から 30 万円未満と回答した者の合計が 444 人(46.3%)と約半数を占めている。年収では、「200 万円未満」と回答した 327 人(26.3%)が最も多く、次いで「200～240 万円未満」が 285 人(23.0%)であり、約半数が年収 240 万円未満で週 40 時間以上の勤務をしている状況であった。(Q.15、Q.17、Q.17-2、Q.18)

- 給与に対しては半数以上の 676 人(54.5%)が「不満」「非常に不満」と感じている結果となり、「満足」「ある程度満足」と回答した 565 人(45.5%)を上まわった。(Q.19)
- 勤務先の健康保険、厚生年金に加入していると回答したのは、それぞれ 932 人(75.1%)、940 人(75.7%)であり、労災保険についても 898 人(72.4%)が入っていると回答した。雇用保険にはより多くの 1129 人(91.0%)が加入していると回答した。(Q.22、Q.23、Q.24、Q.25)
- 就業規則はありますか、の問いに対し、「ない」の回答が 220 人(17.7%)、退職金についての問いでは、「わからない」の回答が 441 人(35.5%)、労災保険の加入についても「わからない」が 287 人(23.1%)あった。この結果から、就業規則についての動物看護師自身の理解度、もしくは動物病院側から動物看護師への周知、説明が十分であったかを検証する必要があると考える。(Q.10、Q.21、Q.25)
- 今後も動物看護師として「働き続けたいと思う」と回答した者は 971 人(78.2%)と多く、仕事へのやりがいについても「非常に感じている」「ある程度感じている」の回答が 1073 人(86.5%)となった。動物看護師の仕事の魅力としては「動物に関われる仕事である」が 1147 人(92.4%、1241 人からの複数回答)、「専門性が高い」695 人(56.0%)、「人や社会に貢献できる」331 人(26.7%)などを理由としてあげており、これらが関与していると推察される。(Q.26、Q.27、Q.30)
- 一方、動物看護師として「働き続けたいとは思わない」と回答した 270 人(21.8%)から、その理由として、給与・勤務時間などの問題や不満が多くあげられた。また、転職したことがある人は 481 人(38.8%)で、その主な理由は「職場の人間関係」が 158 人(32.8%)、「給与・待遇の面」が 79 人(16.2%)であった。(Q.29、Q.29-2、Q.30-2)
- 女性、男性という理由での不当な処遇については 97 人(7.8%)が「受けたことがある」と回答した。その内容として、雇用条件、ハラスメント、結婚・出産・育児、採用などについての具体的な事例が示されている。(Q.28、Q.28-2)
- 愛玩動物看護師の免許の取得については、動物診療施設に勤務する 1200 人のうち 1005 人(83.8%)が「ぜひ取得したい」と回答し、1200 人のうち、認定動物看護師の資格を有している 1016 人では 878 人(86.4%)が取得意向であった。逆に「取得を考えていない」と回答した 195 人(16.3%)の主な理由としては「動物看護師の仕事が続けない」、「転職を予定している」などがあげられており、給与や勤務時間、待遇などの問題も示されている。(Q.31、Q.31-2)

Q.1 あなたのお住まいの都道府県を教えてください ※都道府県別・年齢別・男女別の回答者数

都道府県別の回答者数			年齢	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～50歳	50歳以上	
北海道	119人	8.2%	女性	109人	1人	32人	22人	24人	13人	12人	4人	1人
			男性	10人	0	3人	1人	0	1人	0	2人	
青森県	18人	1.2%	女性	18人	0	5人	7人	4人	0	0	1人	1人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	10人	0.7%	女性	8人	0	2人	2人	1人	1人	1人	1人	0
			男性	2人	0	1人	0	0	0	0	1人	0
宮城県	30人	2.1%	女性	29人	0	14人	5人	人	4人	3人	1人	2人
			男性	1人	0	0	1人	0	0	0	0	0
秋田県	6人	0.4%	女性	6人	0	3人	2人	0	0	0	1人	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	9人	0.6%	女性	9人	0	4人	1人	2人	1人	1人	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島県	9人	0.6%	女性	9人	0	5人	2人	1人	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	31人	2.1%	女性	31人	0	3人	5人	10人	7人	2人	2人	2人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県	13人	0.9%	女性	13人	0	0	2人	6人	1人	3人	人	1人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	21人	1.4%	女性	21人	0	0	4人	6人	2人	8人	1人	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	93人	6.4%	女性	79人	0	24人	18人	11人	9人	11人	4人	2人
			男性	14人	0	3人	3人	7人	1人	0	0	0
千葉県	65人	4.5%	女性	62人	0	14人	12人	21人	6人	4人	4人	1人
			男性	3人	0	0	0	0	0	2人	1人	0
東京都	155人	10.7%	女性	142人	0	26人	37人	37人	21人	12人	4人	5人
			男性	13人	1人	1人	6人	0	4人	0	0	1人
神奈川県	123人	8.5%	女性	117人	0	25人	21人	28人	17人	12人	9人	5人
			男性	6人	0	1人	1人	1人	0	1人	1人	1人
新潟県	18人	1.2%	女性	16人	0	3人	3人	9人	0	1人	0	0
			男性	2人	0	1人	0	1人	0	0	0	0
富山県	3人	0.2%	女性	2人	0	0	1人	0	1人	0	0	0
			男性	1人	0	0	0	0	0	1	0	0
石川県	7人	0.5%	女性	7人	0	3人	1人	1人	1人	1人	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	15人	1.0%	女性	15人	0	4人	4人	6人	0	0	1人	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	2人	0.1%	女性	2人	0	1人	0	0	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	56人	3.8%	女性	52人	0	37人	5人	2人	4人	2人	2人	0
			男性	4人	0	3人	0	0	0	0	1人	0
岐阜県	15人	1.0%	女性	14人	0	4人	3人	2人	1人	2人	2人	0
			男性	1人	1人	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	28人	1.9%	女性	28人	0	6人	6人	6人	2人	3人	2人	3人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知県	69人	4.7%	女性	67人	0	19人	11人	14人	6人	9人	4人	4人
			男性	2人	0	0	1人	1人	0	0	0	0
三重県	5人	0.3%	女性	5人	0	1人	2人	0	1人	0	1人	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	12人	0.8%	女性	8人	0	5人	1人	0	1人	0	1人	0
			男性	4人	0	2人	1人	0	0	0	0	1人
京都府	30人	2.1%	女性	27人	0	8人	3人	4人	6人	2人	4人	0
			男性	3人	0	0	0	1人	人	1人	0	1人
大阪府	183人	12.6%	女性	176人	0	50人	36人	35人	31人	13人	9人	2人
			男性	7人	0	2人	1人	3人	0	1人	0	0
兵庫県	69人	4.7%	女性	66人	1人	17人	9人	16人	7人	8人	5人	3人
			男性	3人	0	0	2人	0	1人	0	0	0
奈良県	27人	1.9%	女性	24人	0	6人	9人	5人	2人	1人	0	1人
			男性	3人	0	0	1人	1人	1人	0	0	0

和歌山県	8人	0.5%	女性	6人	0	3人	人	2人	1人	0	0	0
			男性	2人	0	2人	0	0	0	0	0	0
鳥取県	4人	0.3%	女性	4人	0	1人	0	0	2人	人	1人	人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	1人	0.1%	女性	1人	0	0	0	0	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山県	15人	1.0%	女性	13人	0	4人	2人	3人	2人	0	1人	1人
			男性	2人	0	1人	0	1人	0	0	0	0
広島県	42人	2.9%	女性	40人	0	22人	7人	4人	2人	2人	3人	0
			男性	2人	0	2人	0	0	0	0	0	0
山口県	10人	0.7%	女性	10人	0	2人	2人	1人	2人	1人	1人	1人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	4人	0.3%	女性	4人	0	2人	1人	0	0	0	0	1人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	3人	0.2%	女性	3人	1人	1人	0	0	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	7人	0.5%	女性	7人	0	2人	2人	1人	0	1人	1人	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	5人	0.3%	女性	5人	0	1人	3人	0	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	35人	2.4%	女性	29人	0	7人	7人	6人	7人	1人	1人	0
			男性	6人	0	1人	0	1人	2人	1人	1人	0
佐賀県	4人	0.3%	女性	4人	0	1人	0	2人	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	4人	0.3%	女性	4人	0	0	1人	2人	1人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	11人	0.8%	女性	10人	0	0	1人	3人	3人	2人	0	1人
			男性	1人	0	0	0	0	0	0	0	1人
大分県	14人	1.0%	女性	14人	0	4人	4人	4人	2人	0	0	0
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	15人	1.0%	女性	14人	0	10人	1人	2人	0	1人	0	0
			男性	1人	0	1人	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	13人	0.9%	女性	13人	0	7人	1人	2人	0	0	0	3人
			男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	19人	1.3%	女性	16人	0	5人	5人	2人	1人	1人	1人	1人
			男性	3人	0	1人	0	2	0	0	0	0

## Q. 2 あなたの性別をお答えください

	回答者数	構成比
女性	1359 人	93.4%
男性	96 人	6.6%
総数	1455 人	

## Q. 3 あなたの年齢をお答えください

回答者数	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～50歳	50歳以上
女性	3人	393人	271人	285人	174人	120人	72人	41人
1359 人	0.2%	28.9%	19.9%	21.0%	12.8%	8.8%	5.3%	3.0%
男性	2人	25人	20人	20人	9人	8人	5人	7人
96 人	2.1%	26.0%	20.8%	20.8%	9.4%	8.3%	5.2%	7.3%
総数	5人	418人	291人	305人	183人	128人	77人	48人
1455 人	0.3%	28.7%	20.0%	21.0%	12.6%	8.8%	5.3%	3.3%

Q. 4 あなたの最終学歴をお答えください

最終卒業学校	人数	構成比
動物看護専門学校（2年制）	743 人	51.1%
動物看護専門学校（3年制）	166 人	11.4%
動物系専門学校（トリマー科、トレーナー科など）	142 人	9.8%
動物看護系大学	107 人	7.4%
高校	97 人	6.7%
動物看護系以外の大学	86 人	5.9%
動物看護3年制以外の短期大学	37 人	2.5%
動物看護3年制短期大学	22 人	1.5%
動物系以外の専門学校	21 人	1.4%
その他	20 人	1.4%
専門学校以外の専門教育機関	14 人	1.0%
総計	1455 人	

Q. 4-2 その他と答えた方は具体的にご記入ください

最終卒業学校 その他	人数
1年制の動物看護系専門学校	9 人
動物看護系以外の専門学校	2 人
獣医師	1 人
看護師	1 人
海外の動物看護学科、高校中退など	7 人
その他合計	20 人

Q. 5 認定動物看護師資格を取得していますか？

	人数	構成比	男女別の人数と構成比		
				人数	構成比
取得している	1223 人	84.1%	女性	1146 人	84.3%
			男性	77 人	80.2%
取得していない	232 人	15.9%	女性	213 人	15.7%
			男性	19 人	19.8%

Q. 6 現在、動物看護師として就業していますか？

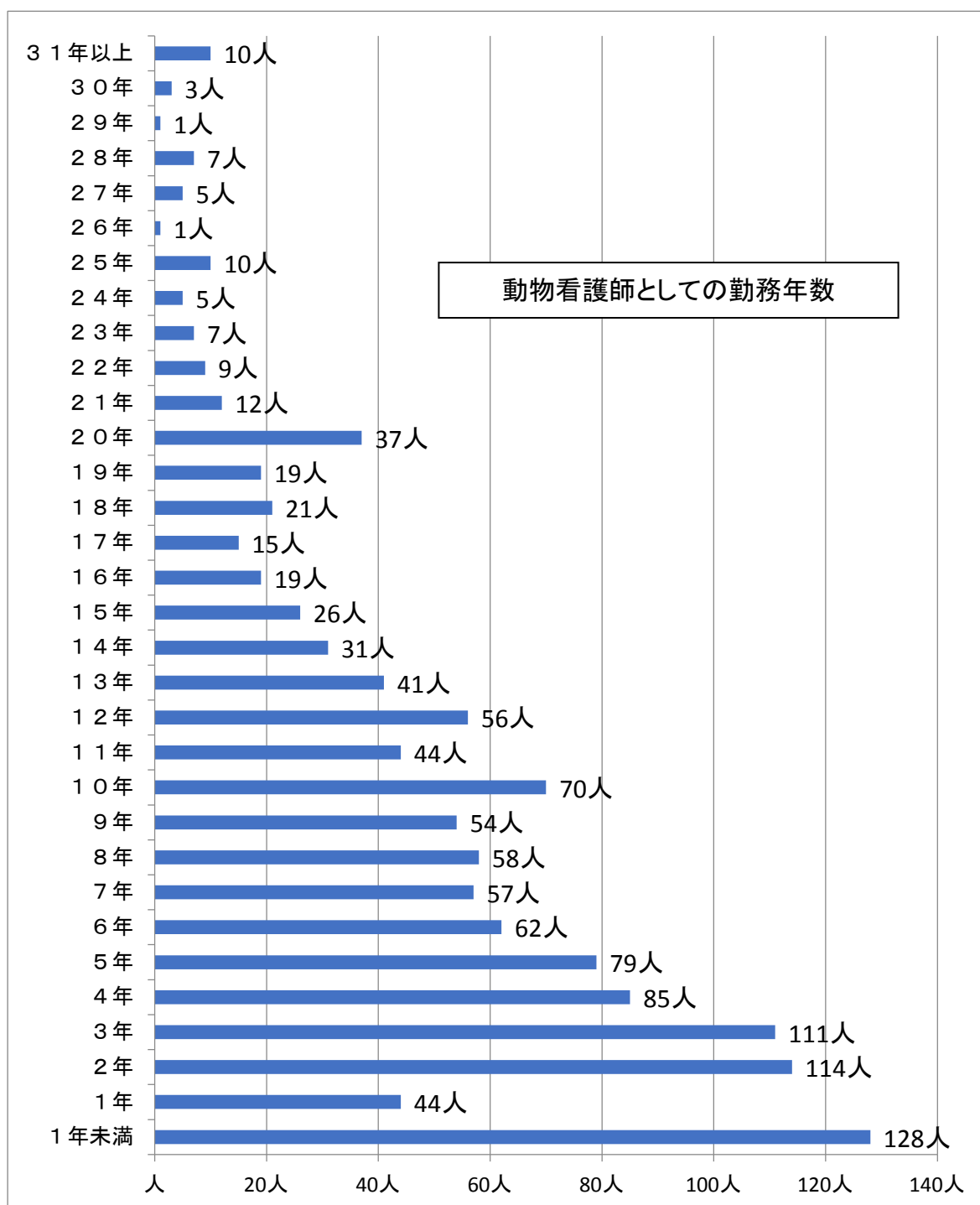
	人数	構成比	男女別の人数と構成比		
				人数	構成比
動物看護師として就業している	1241 人	85.3%	女性	1167 人	85.9%
			男性	74 人	77.1%
就業していない	214 人	14.7%	女性	192 人	14.1%
			男性	22 人	22.9%



Q. 7 現在、現在の勤務先の雇用形態は？

雇用形態	人数	構成比	男女別の人数と構成比		
				人数	構成比
常勤／正規雇用	1072 人	86.4%	女性	1003 人	73.8%
			男性	69 人	71.9%
非常勤 パート・アルバイト	169 人	13.6%	女性	164 人	12.1%
			男性	5 人	5.2%

Q. 8 動物看護師としての勤務年数は何年ですか？



○ 動物看護師の年齢と勤務年数の分布

勤務年数	総計	2人	357人	259人	260人	149人	115人	61人	38人	1,241人
	31年以上								10人	10人
	30年							1人	2人	3人
	29年								1人	1人
	28年							3人	4人	7人
	27年							3人	2人	5人
	26年							1人		1人
	25年							6人	4人	10人
	24年						5人			5人
	23年						3人	4人		7人
	22年						6人	3人		9人
	21年						10人	2人		12人
	20年					3人	25人	7人	2人	37人
	19年					7人	7人	3人	2人	19人
	18年					12人	6人	3人		21人
	17年					9人	5人	1人		15人
	16年					16人	1人	1人	1人	19人
	15年				4人	10人	8人	2人	2人	26人
	14年				13人	13人	2人	1人	2人	31人
	13年				25人	12人	3人		1人	41人
	12年				36人	11人	5人	4人		56人
	11年				28人	9人	2人	4人	1人	44人
	10年			4人	43人	10人	7人	5人	1人	70人
	9年			13人	34人	5人	2人			54人
	8年			25人	23人	4人	2人	3人	1人	58人
	7年			35人	16人	4人	1人	1人		57人
	6年			45人	11人	3人	3人			62人
	5年		9人	53人	10人	6人	1人			79人
	4年		41人	30人	6人	6人	1人		1人	85人
	3年		72人	32人		3人	4人			111人
	2年		95人	10人	5人	2人	1人	1人		114人
	1年		33人	5人	3人	1人		1人	1人	44人
1年未満	2人	107人	7人	3人	3人	5人	1人		128人	
	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～50歳	50歳以上		
動物看護師の年齢										

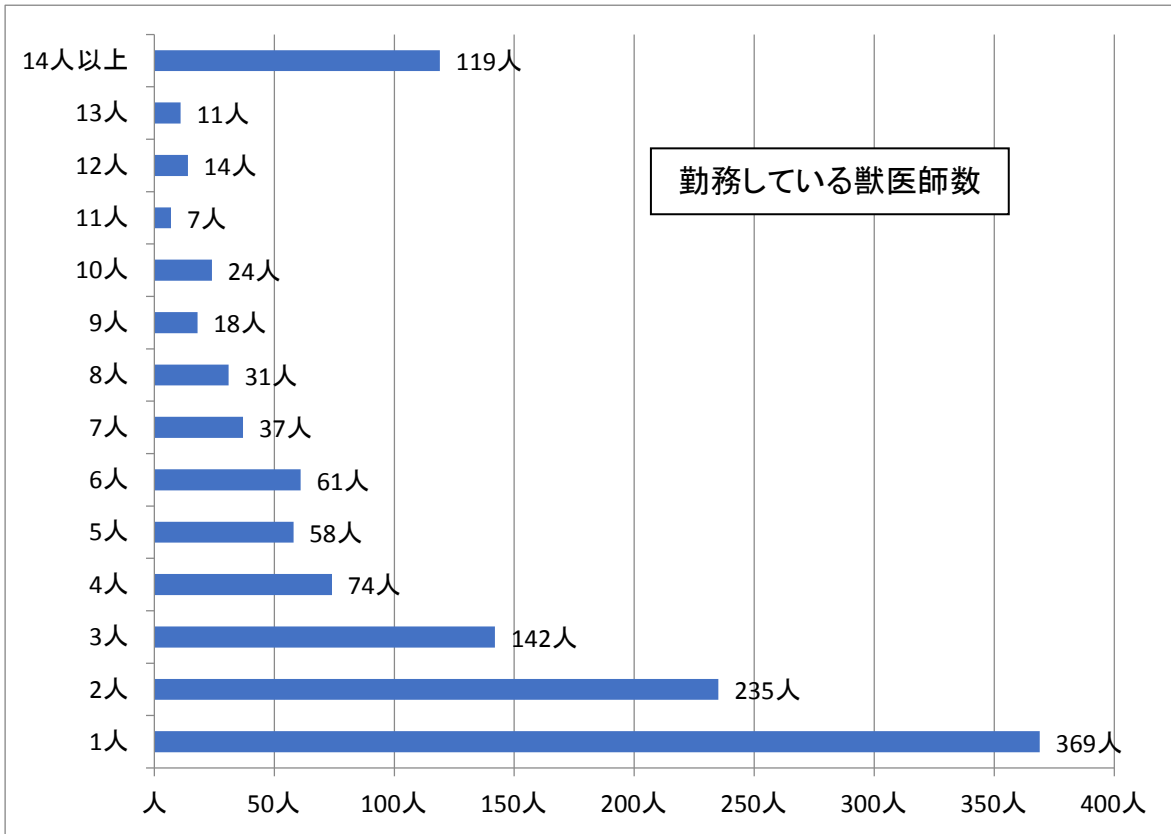
Q. 9 現在勤務している就業場所は？

就業場所	就業人数	
動物病院などの動物診療施設	1200人	96.7%
動物看護師教育養成機関	26人	2.1%
企業・事業所	8人	0.6%
フリーランス・自営	3人	0.2%
老犬ホーム・ペットの訪問介護・看護、シッターなど	2人	0.2%
動物実験施設	1人	0.1%
米軍基地内の動物病院	1人	0.1%
総数	1241人	

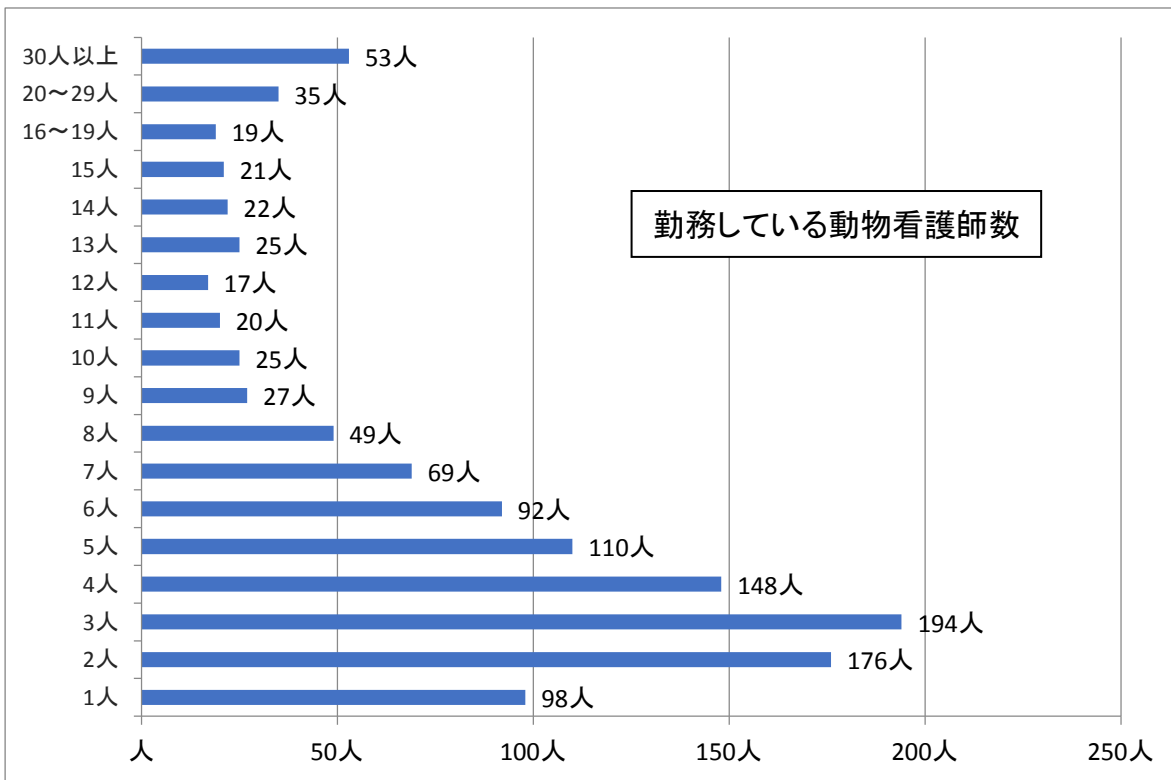
○ 獣医師数と動物看護師数の分布／Q. 9-2、Q. 9-3 の回答結果より

	総計	369人	235人	142人	74人	58人	61人	37人	31人	18人	24人	7人	14人	11人	119人	1,200人
	勤務している動物看護師数	30人以上										1			1	51
	25人								1				1	2	6	10人
	24人												1		2	3人
	23人								1		2			1	2	6人
	22人									1			1		3	5人
	20人						1			1					9	11人
	19人														0	0人
	18人								1						1	2人
	17人					1					1		2		1	5人
	16人					1	1	1	4	1	1		1	1	1	12人
	15人							4	3	2	2		2	2	6	21人
	14人					1	1	3	1	1	1	1			13	22人
	13人				1	1	1	3	5	3	4	1	2		4	25人
	12人		3		1		3	4		1		1	1		3	17人
	11人		5			3	2	4	2		1	1			2	20人
	10人	1	4	1	1	4	3	2	2	1	2		2	1	1	25人
	9人	1	2	3		4	9	1	1	3	1	1		1		27人
	8人	4	6	7	2	8	4	6	5	2	1		1	1	2	49人
	7人	5	5	11	8	10	11	4	3	1	5	2			4	69人
	6人	10	20	17	21	10	5	4	2						3	92人
	5人	32	21	25	17	4	6	1		1	1				2	110人
	4人	51	44	33	7	5	5							1	2	148人
	3人	96	54	25	12	1	5								1	194人
	2人	102	49	15	4	3	3									176人
	1人	67	22	5		2	1				1					98人
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人	12人	13人	14人以上	総計
	勤務している獣医師数															

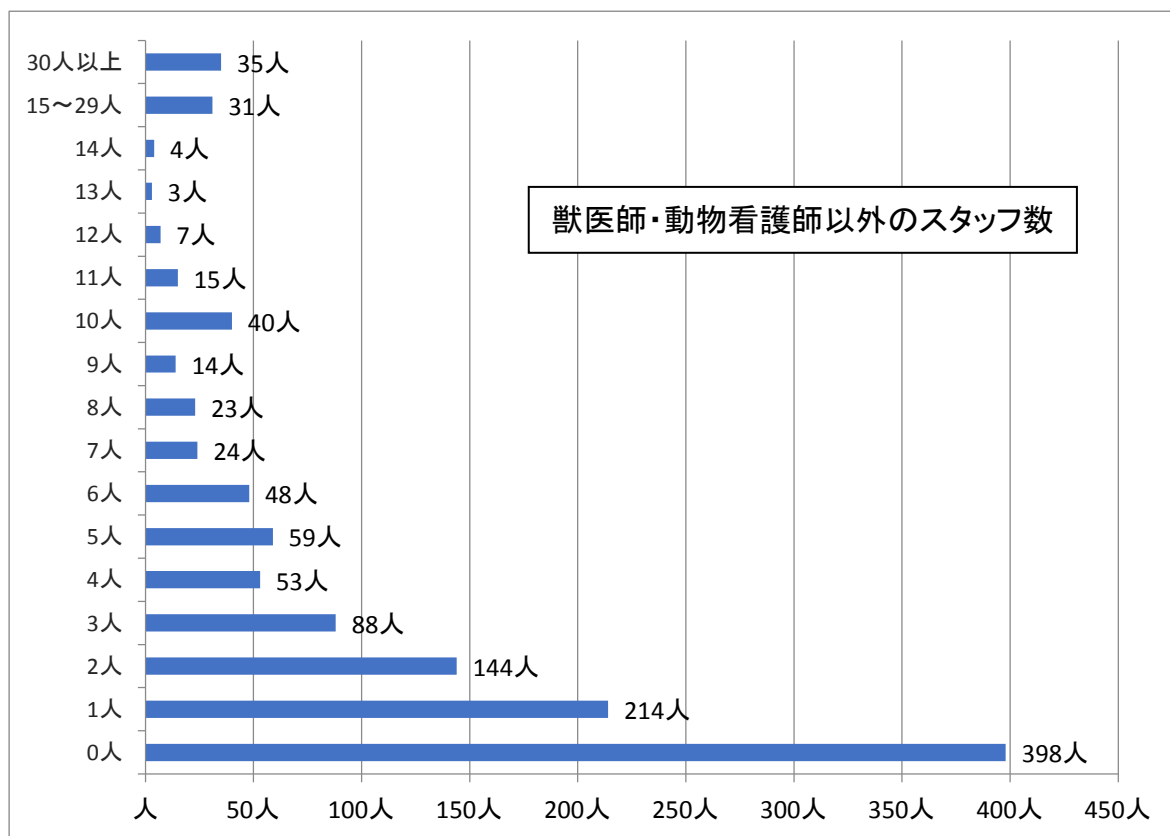
Q. 9-2 勤務先の獣医師は何人ですか？



Q. 9-3 勤務先の動物看護師は何人ですか？



Q. 9-4 獣医師、動物看護師以外のスタッフは何人ですか？



○ 獣医師・動物看護師以外で動物病院に勤務するスタッフの主な職種と人数

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
トリマー	733人	130人	139人	75人	50人	29人	44人
事務	689人	209人	100人	61人	28人	28人	85人
その他	791人	162人	83人	54人	25人	17人	68人

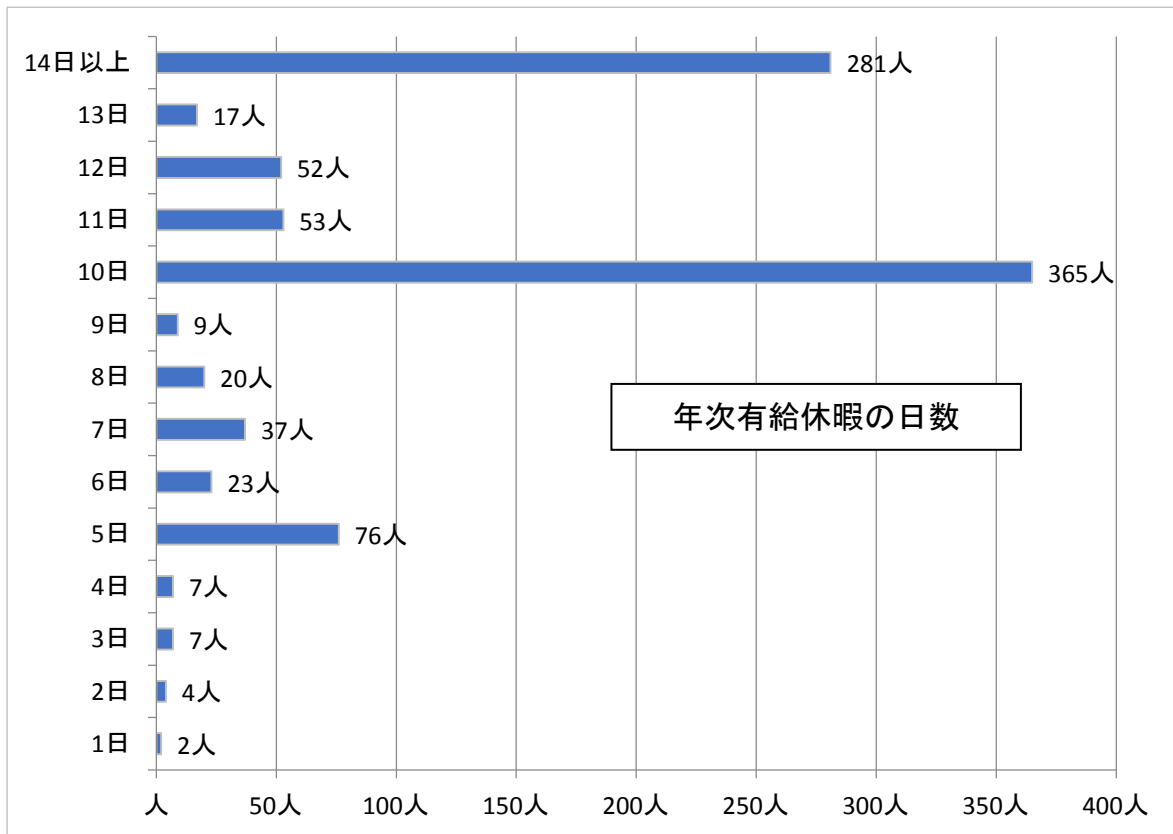
Q. 10 就業規則はありますか？

就業規則はある	1021 人	82.3%
就業規則はない	220 人	17.7%
総数	1241 人	

Q. 11 年次有給休暇はありますか？

有給休暇はある	953 人	76.8%
あるが何日あるか知らない	91 人	7.3%
有給休暇はない	197 人	15.9%
総数	1241 人	

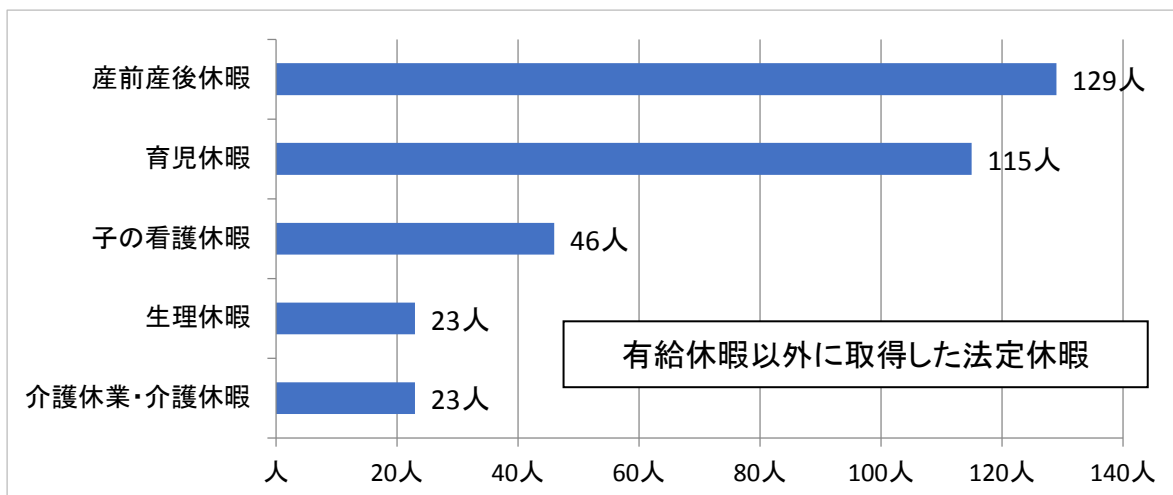
Q. 11-2 年次有給休暇の日数は？



Q. 12 年次有給休暇以外の法定休暇の取得は？

年次有給休暇以外の法定休暇の取得がある	156 人	12.6%
年次有給休暇以外の法定休暇の取得はない	1085 人	87.4%
総数	1241 人	

Q. 12-2 どのような休暇ですか？ ※取得があると回答した 156 人。複数回答



Q. 13 法定外休暇、休日はありますか？

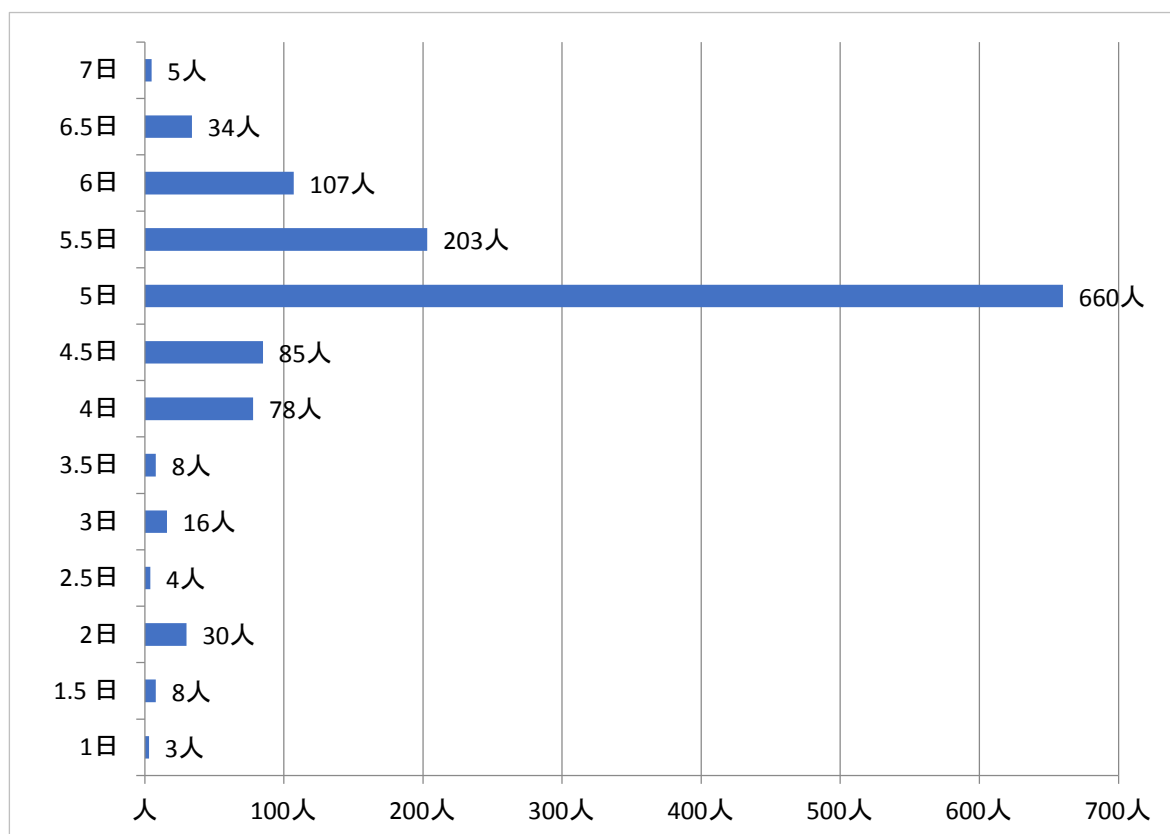
法定外休暇・休日がある	537 人	43.3%
法定外休暇・休日はない	704 人	56.7%
総数	1241 人	

Q. 13-2 どのような休日がありますか？ ※法定外休暇があると回答した 537 人。複数回答

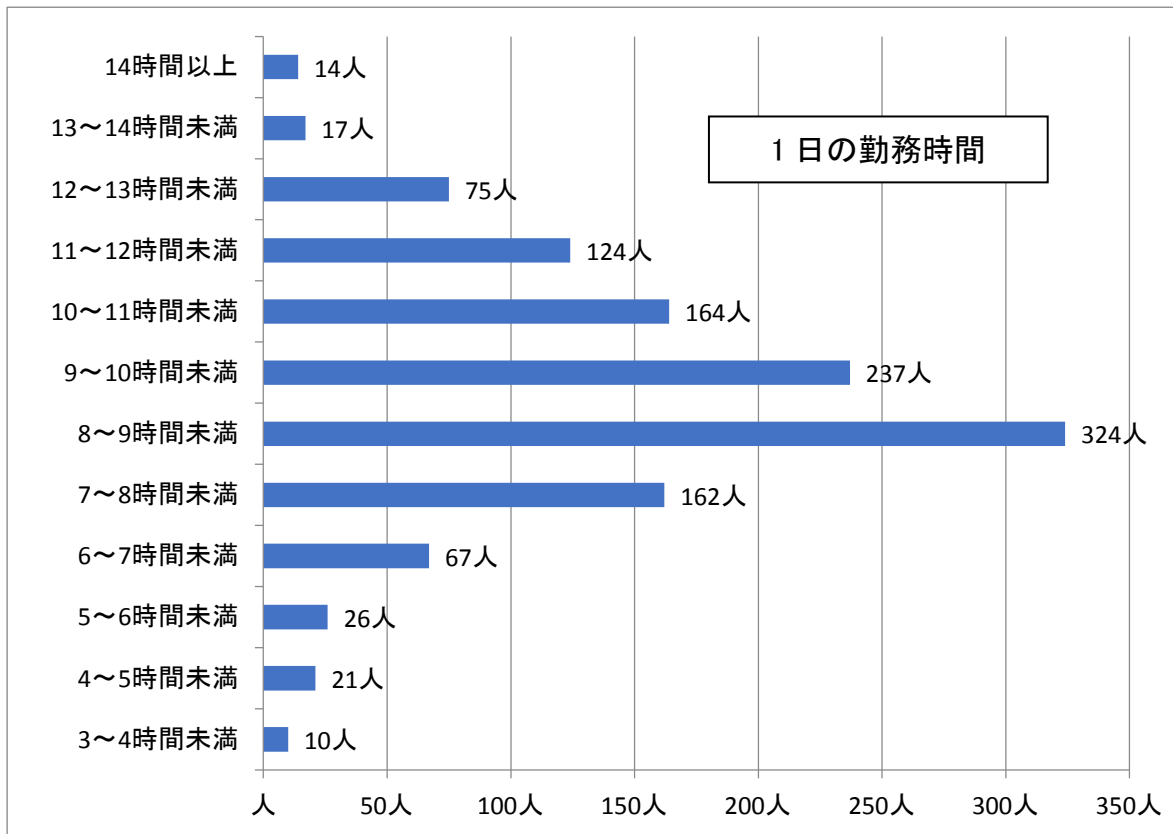
年末年始	365 人	68.0%
慶弔	324 人	60.3%
夏休み(盆休含む)	267 人	49.7%
その他	62 人	11.5%

その他 / 法定外休暇		
リフレッシュ休暇	7 人	1.3%
ペットが亡くなった時	7 人	1.3%
長期休暇	6 人	1.1%
学会・セミナー参加	6 人	1.1%
冬休み	5 人	0.9%
ゴールデンウィーク	4 人	0.7%
生理休暇	3 人	0.6%
代休	2 人	0.4%
誕生日、地元のお祭りなど	22 人	4.1%
計	62 人	

Q. 14 1週間の勤務日数は？ ※直近1カ月の平均



Q. 15 1日の勤務時間は？ ※1年の平均



○ 1週間の勤務日数と1人の勤務時間の分布

構成比	0.2%	0.6%	2.4%	0.3%	1.3%	0.6%	6.3%	6.8%	53.2%	16.4%	8.6%	2.7%	0.4%		
総計	3人	8人	30人	4人	16人	8人	78人	85人	660人	203人	107人	34人	5人	1,241人	
14時間以上							1人		5人	4人	1人	2人	1人	14人	1.1%
13~14時間未満							1人	3人	8人	3人	2人			17人	1.4%
12~13時間未満			3人	1人	1人		8人	5人	44人	10人	2人	1人		75人	6.0%
11~12時間未満		2人			1人	2人	5人	10人	65人	19人	13人	6人	1人	124人	10.0%
10~11時間未満							8人	11人	87人	28人	25人	5人		164人	13.2%
9~10時間未満		3人	7人			1人	14人	13人	140人	35人	19人	4人	1人	237人	19.1%
8~9時間未満	1人	2人	7人		1人	1人	15人	15人	201人	53人	19人	9人		324人	26.1%
7~8時間未満		1人	3人	1人	2人	1人	7人	18人	70人	40人	13人	6人		162人	13.1%
6~7時間未満			3人		7人	1人	8人	6人	25人	8人	8人	1人		67人	5.4%
5~6時間未満	1人				1人	2人	8人	3人	7人	1人	2人		1人	26人	2.1%
4~5時間未満			5人	1人	2人		1人	1人	6人	2人	2人		1人	21人	1.7%
3~4時間未満	1人		2人	1人	1人		2人		2人		1人			10人	0.8%
1日の勤務時間	1日	1.5日	2日	2.5日	3日	3.5日	4日	4.5日	5日	5.5日	6日	6.5日	7日	総計	構成比
	1週間の勤務日数														

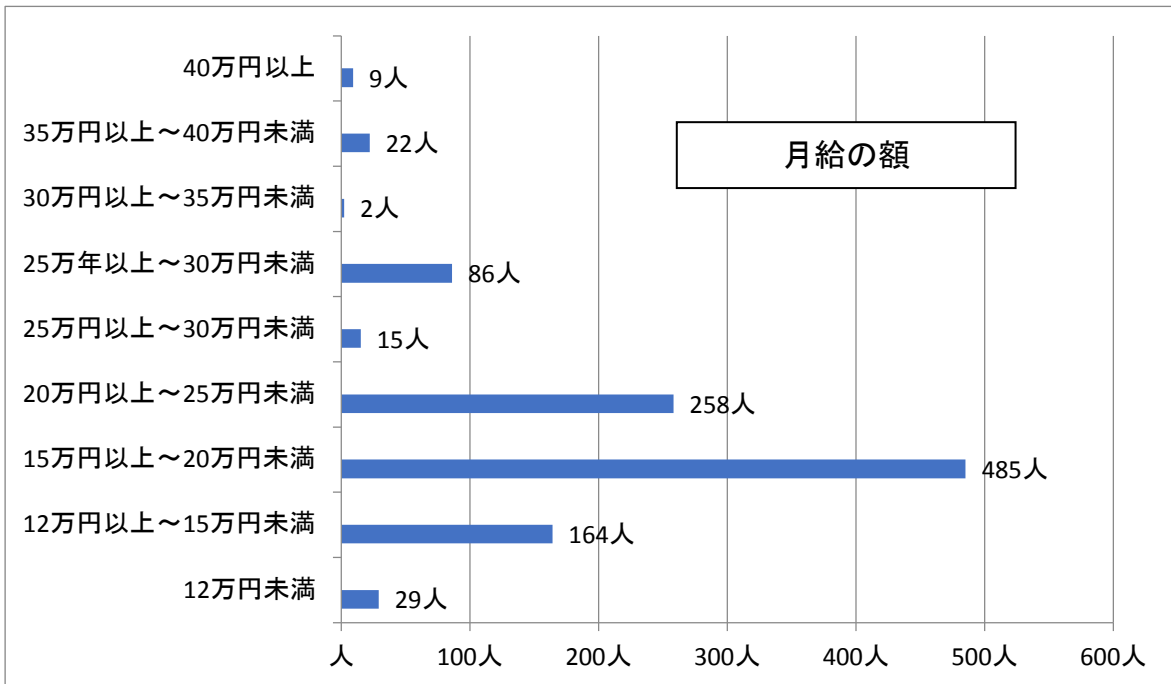


Q. 16 給与の形態は？

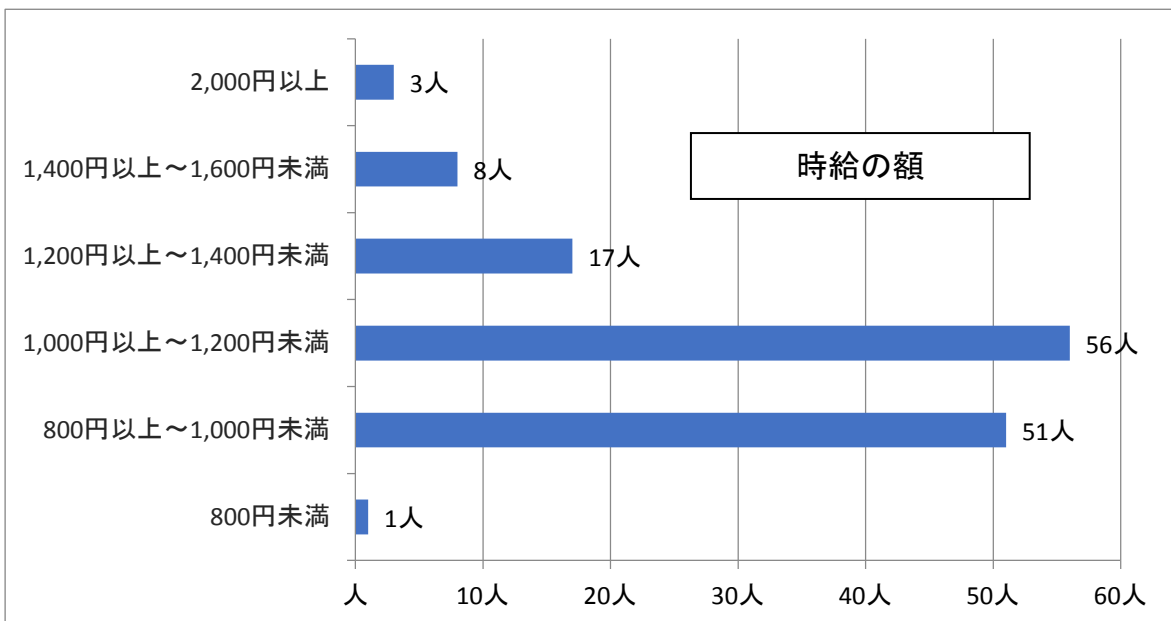
給与の形態	人数	構成比
月給	1070 人	86.2%
時給	137 人	11.0%
その他	34 人	2.7%
総計	1241 人	

給与の形態 その他	人数	構成比
日給	26 人	2.1%
経営者・役員報酬	5 人	0.4%
週給	2 人	0.2%
年俸	1 人	0.1%
計	34 人	

Q. 16-2 月給の場合、月給(税込)はどのくらい？



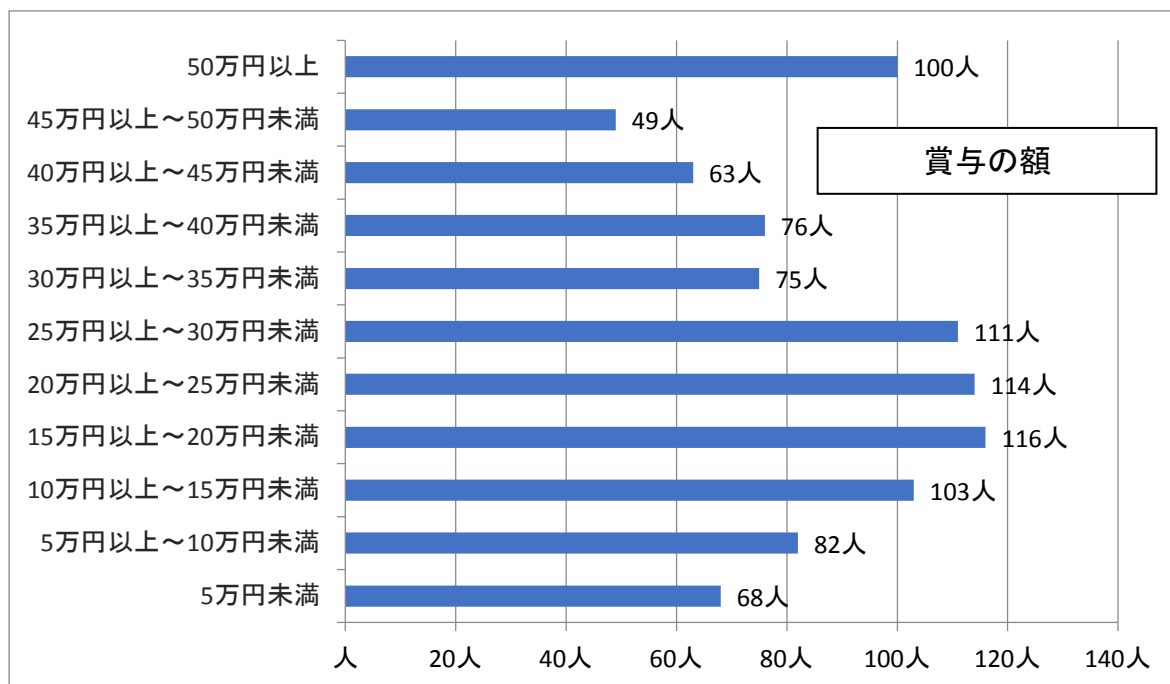
Q. 16-3 時給の場合、時給(税込)はどのくらい？



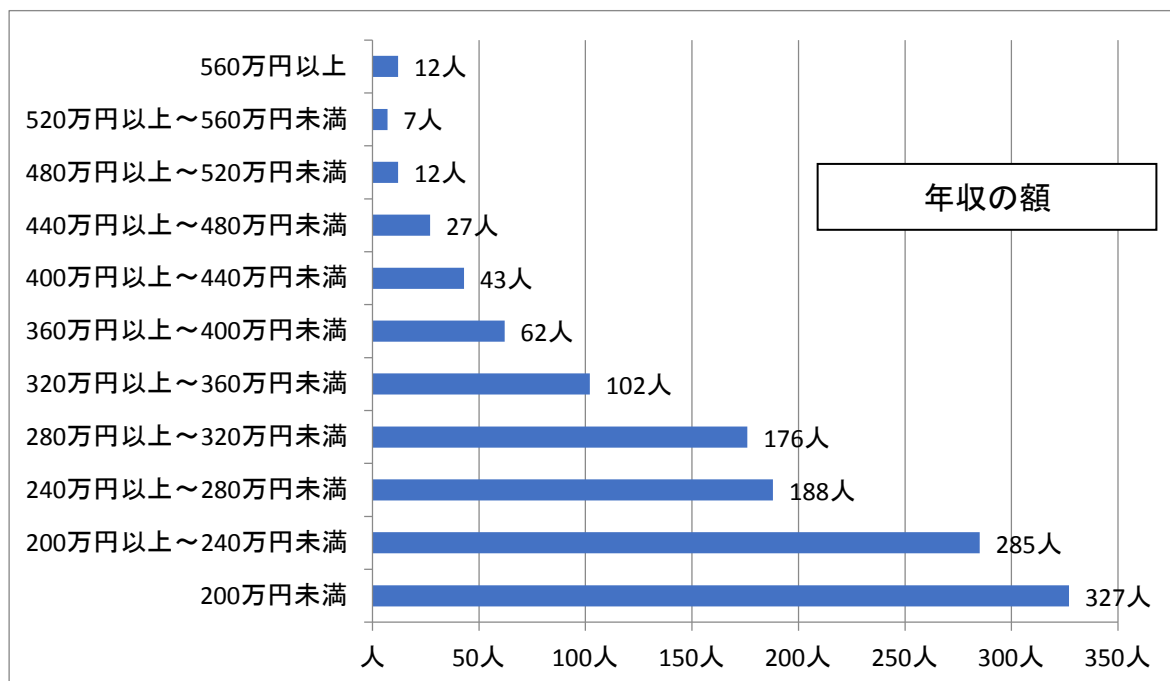
Q. 17 賞与はありますか？

賞与はある	957 人	77.1%
賞与はない	284 人	22.9%
総数	1241 人	

Q. 17-2 1年間の賞与(税込)はどのくらい？



Q. 18 年収(税込)はどのくらい？ ※毎月の給与+賞与+諸手当などの合計金額



Q. 19 現在の給料に満足していますか？

給料の満足度合	人数	構成比
満足	97 人	7.8%
ある程度満足	468 人	37.7%
不満	435 人	35.1%
非常に不満	241 人	19.4%
総計	1241 人	

Q. 20 諸手当はありますか？

諸手当がある	916 人	73.8%
諸手当はない	325 人	26.2%
総数	1241 人	

Q. 20-2 諸手当の種類は？

通勤手当	785 人	63.3%
時間外手当	751 人	60.5%
住宅手当	274 人	22.1%
役付手当	188 人	15.1%
認定動物看護師手当	187 人	15.1%
皆勤手当	136 人	11.0%
認定動物看護師以外の資格手当	73 人	5.9%
夜勤手当	7 人	0.6%
トリミング手当	5 人	0.4%

Q. 21 退職金制度はありますか？

退職金制度がある	393 人	31.7%
退職金制度はない	407 人	32.8%
わからない	441 人	35.5%
総数	1241 人	

Q. 22 勤務先の健康保険に入っていますか？

健康保険に加入している	932 人	75.1%
健康保険に加入していない	309 人	24.9%
総数	1241 人	

Q. 23 勤務先の厚生年金に加入していますか？

厚生年金に加入している	940 人	75.7%
厚生年金に加入していない	301 人	24.3%
総数	1241 人	

Q. 24 雇用保険に加入していますか？

雇用保険に加入している	1129 人	91.0%
雇用保険に加入していない	112 人	9.0%
総数	1241 人	

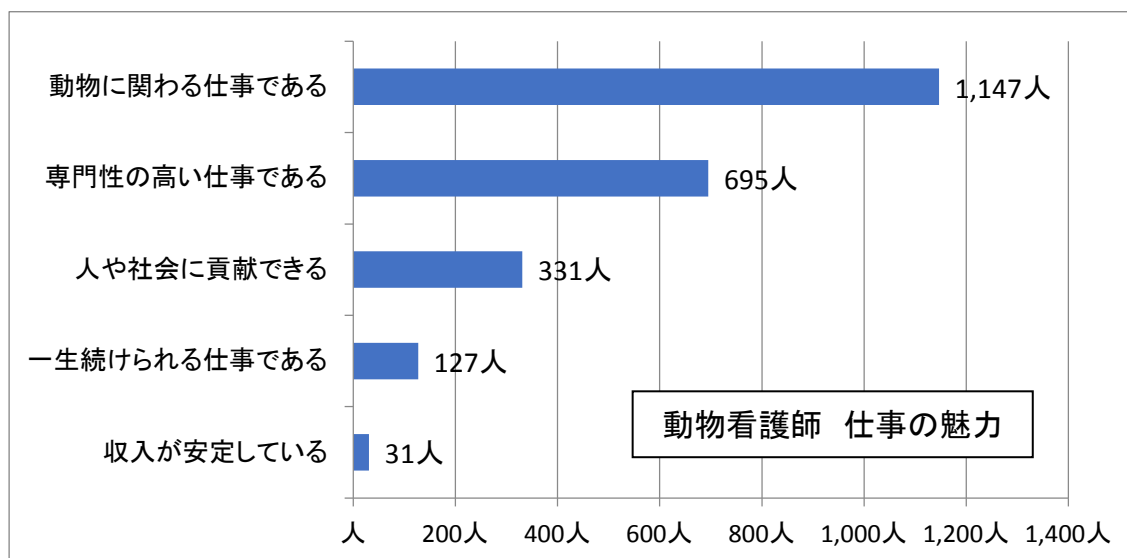
Q. 25 勤務先は労災保険に入っていますか？

労災保険に入っている	898 人	72.4%
労災保険に入っていない	56 人	4.5%
わからない	287 人	23.1%
総数	1241 人	

Q. 26 現在の仕事にやりがいを感じていますか？

“やりがい”の度合い	人数	構成比
非常に感じている	314 人	25.3%
ある程度感じている	759 人	61.2%
あまり感じていない	151 人	12.2%
全く感じていない	17 人	1.4%
総数	1241 人	

Q. 27 動物看護師の仕事の魅力は？ ※動物看護師として就業している 1241 人。複数回答



Q. 28 女性、男性という理由での不当な処遇は？

性別による不当な処遇を受けたことがある	97 人	7.8%
受けたことはない	1144 人	92.2%
総数	1241 人	

※Q.28-2、Q.29-2、Q.30-2、Q.31-2の自由回答については、回答をいただいた文章、表現などは、できるだけ変えずに記載しています。

Q. 28-2 その内容を具体的にご記入ください ※不当な処遇を受けたことがあると回答した 97 人

女性からの回答／仕事・業務・雇用条件などに関するもの
セクハラ
どうせすぐやめる、力が無い、勉強をしないだろう、といった決めつけからの低賃金の押しつけ。
個人的に対応が違いすぎる。
女だから、男だからこうあれという経営者の方針を押し付けられ、結婚や妊娠での退職が許されない。
根強く残る男尊女卑は感じる。
仕事が忙しく、休憩時間も少なくて手が回らないのに女性が多いんだから病院内をもっと綺麗にしろと言われた。
自分の子供を職場へ連れてきたとき診療しながら託児をさせられる(命令ではないが放置されてる子供を見過ごせない)。
より専門的な分野に入れない。
男性獣医師から『女は俺に従え』と言われた。
受付業務。清掃。は女性がやるべき風潮がある。
保定時、長時間の持続力がない。暴れる大型犬の保定ができない。
暴力
女は、仕事に対して男ほど真剣じゃない。どうせ結婚して、仕事辞めるやろ。と言われました。
女性が長く続ける仕事ではないと言われたことがある。
結婚や妊娠で長期勤務が難しいので、元々給料が低く設定してあったり、勤務年数が増えても新卒の獣医と同等の金額までしか上げてもらえなかったりした。
女性だから〇〇くらいしろよ、と言われる。
女性だから気分の浮き沈みが激しいだろう、とセクハラともとれる発言を獣医師から受けました。
昔ですが、軽くタッチされるなどはあった。
女性だから受付をしろ、レジをしろ、電話をとれ。
女性だから大きい犬の保定は出来ないとチャレンジすらさせてもらえない。
女性だと院長に何も教えてもらえません。
獣医師が出しっぱなしの物は女である動物看護師が片付ける事。
仕事内容の区別、待遇。
給与の上限を低く設けられた。知識を得ることに難色を示された。
女性らしさを求められる。
生理で早く出勤(時間外手当に含まれない)ができなかった際に怒られる。
有給をもらえなかった。
力が弱い
力仕事
大型犬などの保定が男性看護師の方が頼りにされる。結婚をしたらいつ辞めるか聞かれた。
男手の仕事でもしないとイケない。
男性で家庭持ちだから、同等のスキルや仕事量、または自身がそれ以上の貢献をしても男性の方が給与が高い。
「女性だから」という言動が多い。
仕事の割り振り。
男性は将来家族を養うため給与もそれなりに考えないとイケないというような発言があった。
男性看護師が家族がいた為、はるかに職歴が短いにもかかわらず私よりお給料は良かったです。
男性看護師の優遇。
同じ看護師でも給料に差がある。大きな仕事は男性が任せられがち。
仕事を教えてくれなかったり、自分の機嫌できつくあたられたり、3か月の試用期間で1ヶ月半ぐらいで辞めさせられた。
あんた達女の子なんだから……と言葉始めに言われることがある。
いじめのようなもの。
お茶入れ、事務作業の押し付けなど。
重要な面で外される。

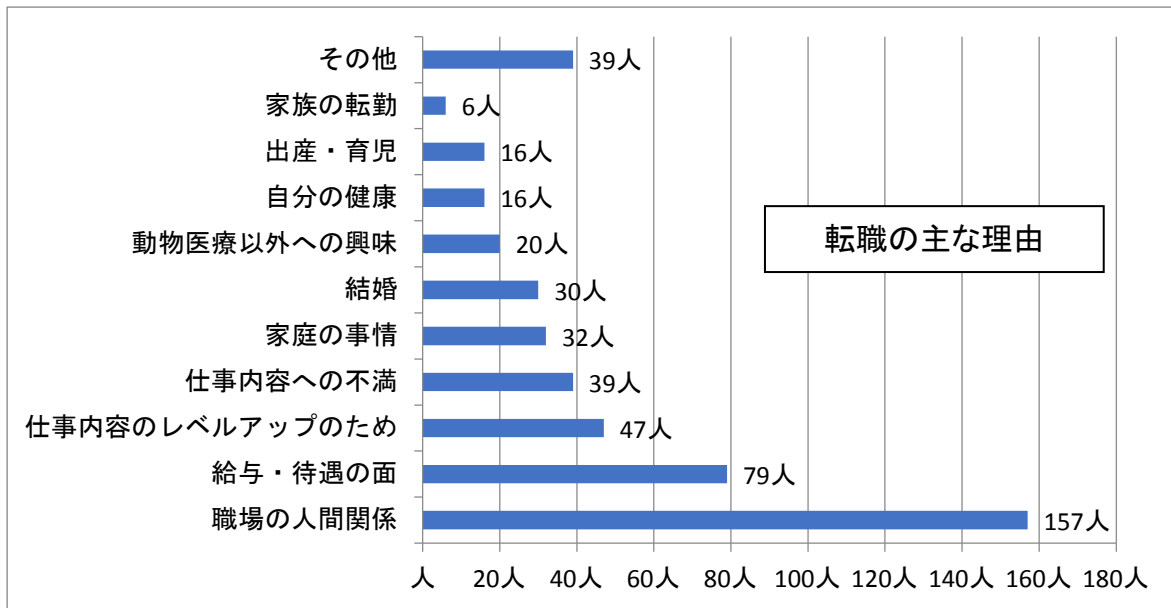
<b>女性からの回答／動物病院のスタッフ以外(来院の飼い主さん、など)に関するもの</b>
院長(男性)だと納得する人。
患者からの当たりが強くなる。
クレームをつけてくる患者様から女性はなめられやすい。
男性のオーナーから威圧的な態度をとられる。
患者さんからのセクハラ、無視。
飼い主さんからの心ない一言などもあった。
大型犬の保定を飼い主に拒否される。
特に男性の飼い主からは、罵倒されることがあり(院長(男)に変わると態度がかわる人が多い)。
若い女ということで明らかに飼い主からの反応や対応が悪かった。
獣医師、動物看護師共に女性だけの病院で勤務していた時、男性の飼い主様にフィラリア薬の提案をしたところ、「女はこっちの言うことだけ黙ってやっていけばいい、余計なことを言うな」と怒鳴られた事がある。
営業の方の態度。
<b>女性からの回答／結婚や出産、育児に関するもの</b>
休み時間に妊活のため病院に通院することを許していただけない。
マタニティハラスメント
結婚したら女子は、辞めれば良い!
子供が熱が出ても休まないように!
お母さんを雇ってのわけでは無い!と育休明けに言われた。子供がインフルエンザでも休めない…
獣医さんには、子育てで、遅刻や半日休みに寛大だが、動物看護師にはとても厳しい。
結婚出産をしていないので常にご近所の方からもプライベートをアレコレ詮索されて辛い。
結婚したら退職するのだろうか。妊娠したら退職するのだろうか。という扱いを受けている。
結婚して子供が出来たら、正社員では雇用しないとわれ、出産を諦めました。
結婚すると辞めるでしょと言われる。
妊婦のスタッフの体調不良は休みが出るが、生理の体調不良での休みは許可おりないことがある。
子供がいるので、時短になったらチーフなどにはなれないと言われた。
子供ができて産休を取ったら君はパートになれと経営者から言われた。
子供を産んでからの差別。
出産前に復帰時の条件等からめて圧力をかけられたことがある。
女性だと結婚して辞めてしまうと言われた。
先輩が不妊治療のため、当日急に休んだり、いきなり長期で休んだりしていた時期に、院長が残りのスタッフ(私・同期)にお前達は妊活するならやめると言われた。先輩は妊娠して円満に辞めていったが、私達は有給すら取りづらい。また、代わりはいる。いなくなっても困らないなど日頃より軽視されている。
前の勤め先ですが、育児休暇後の勤務形態を女性だから母親だからと時短勤務には出来ない、他のスタッフと同じ時間働くようにと言われて労働基準監督署に相談に行き、最終的には17時半までの時短勤務になりました。
独身女性は辞めるから大事な仕事は任せないそうです。
妊娠中体調が不安定であることを怒られた
妊娠が判明したらすぐ解雇を促されたこと。
妊娠したら辞めなくてはならなかったこと。
妊娠したら退職と言われた先輩がいる
妊娠で解雇になった。
妊娠時にレントゲン撮影など保定が入れない事を嫌みのように言われた。
妊娠中の対応が辛かった。
未婚女性に否定的。
未婚女性は結婚したら辞めるそうなので、事務仕事は任せられない。
面接時に結婚考えていると働くのは厳しいと言われた事があります。
<b>男性からの回答／採用に関するもの</b>
実習時代に受け入れ先探しの際に「当院は女性のみ」と断られ続けた。
男性のため雇えないと言われた。
男性は、そもそも動物看護師はやめた方が良いと言われた(待遇面も含めて)。
雇用の際、男性は家族を養える給料を出せないから雇わない。
男性はいらない。
男性は雇いにくいなど。
男性は面接を拒否されます。
地元で男性看護師は採用しないと言われた
女性の動物看護師しか雇えないと獣医師から言われた。
就職活動の時、男という理由で内定をもらえなかった。将来的に自立した生活ができるくらいの給料を出すことが難しいという理由で。就職先を探す際に困難だった。

男性からの回答／業務に関するもの
遠回しに男性で動物看護師してるんだと東京、神奈川に分院のある動物病院の方に言われた。女性が多い職種だとは認識してるけど、男性でこの仕事をしたい方はいると思うのでその言い方はどうかと思いました。
「男の癖に～」、「男なんだから他の人より頑張らなきゃいけない」等。
以前の現場で男性という理由で夜間看護。男性という理由でチーフにされる。男性という理由だけでがさつと言われるなど。
大型犬を持たされる。
男だからと危ない動物の保定、力仕事、機械関係は問答無用で任せられる。
繊細な仕事はできないと思われている。
動物が暴れると男の人だから怖がっているなど言われる。
男だから大型犬もって。噛む、暴れるなどの犬持って、など。男だから受付に立てない時期があった。
危険な薬剤の取り扱いを男性にだけ強制させられる。
男性にだけ凶暴な動物の保定をさせられる。
高所の作業でヘルメットなどの装備がない。
休みを減らされそうになった。

### Q. 29 転職したことがありますか？

転職したことがある	481 人	38.8%
転職したことはない	760 人	61.2%
総数	1241 人	

#### Q. 29-2 転職したことがある 481 人の方に。その主な理由をひとつだけお答えください。



#### Q. 29-3 その他の理由を具体的に

勤務する動物病院に関係するもの
院長の病死による閉院。
勤務していた動物病院が閉院したため、転職せざるおえなかった。
前職の動物病院が閉院の為。
動物病院の事情。
会社が移転したため。
閉院した。
契約年数満期のため。
不当解雇。
自分しかいない時に強盗事件があった為。
上司の指示(強要)。

残業が70時間/月くらいあったが、基本給に残業が一部含まれていたため、動物病院を信用できなかった。退職時取得できる休暇も取得できず、何故か聞いた際に初めて就業規則を見せられ、信用を失った。
外来数が多く人手不足のため忙し過ぎて、しっかりと入院の子やホテルの子が看れなく、罪悪感から辞めました。
院長からのパワハラ 休日中に私以外のスタッフにLINEで事実と異なる話を送ったり、中傷する言葉を沢山言われた。
系列の新規動物病院への異動。
朝7時前から深夜3時までの勤務で、寝不足で事故を起こした。
その動物病院で一生動物看護師として働けるか、という不安から。
<b>自身の判断、都合に関するもの</b>
引き抜き。
人数縮小の為、希望退社。
新規動物病院の開業に誘われたため。
海外でグルーマーとして勤務。
海外移住に興味があった。
通勤時間。
勤務先が家から遠い。
引っ越し。
年齢的な事。
家庭の事情。
元々社員動物看護師で勤務後、ペットシッターとして起業。副業として他院にてパート動物看護師として復帰。今に至る。
他にやってみようと思った。
他にやりたいことがあったため。
他の業界が知りたかった。
<b>他の仕事から転職して動物看護師に</b>
他業種から動物看護師への転職。動物関係の仕事に就きたいと思ったため。
動物看護師から転職ではなく他業種から動物看護師になりました。
他業種から動物病院への転職。
OLからやはりVTになりたいと思った。
飼っていた動物が亡くなり動物について詳しくなりたいと思った為。
トリマーだったのでそれからの転職。

Q. 30 今後、動物看護師として働き続けたいですか？

働き続けたいと思う	971 人	78.2%
働き続けたいとは思わない	270 人	21.8%
総数	1241 人	

Q. 30-2 そう思わない理由は？ ※働き続けたいとは思わないと回答した 270 人の回答

<b>給与・勤務時間など雇用条件、仕事の内容や職場の環境に関するもの</b>
拘束時間が長い。
給料が安いし残業が多い。仕事量が多い。昼休みがほとんどない。有給を使わせてもらえない。獣医師の動物看護師に対する態度がパワハラに感じる人が多い。上記の理由で適応障害になり退職しました。
勤務時間が長い(11時間拘束休み時間ほぼなし)。
給料が安い(時給計算500円以下)。
他の仕事をした方が稼げるし仕事が辛くなかった。
地域性もあると思うが、待遇が悪い。
きつい 独り身で生活していくには給料が割に合わない。
キツイ、給料に見合わない、自分にあまり向いていない。
給料が安い。
安月給で時間にしばれている為一生は続けられないと思う。
安月給、重労働。
稼げないから。
割にあわない。
帰宅時間が遅い、休みがほぼ無い。
休みがとれない。体力面が不安。
休みが少ない。
勤務時間が長い。
残業が多い。



連休がない。
給料が安い
頑張っている割に報われない。
休みが少ない給料が少ない。
休みが少なく勤務時間が長い。
休みづらい雰囲気。有給が取れない、増えない。労災がでない。
休みの少なさ、給料の少なさ。
休みの日にも入院動物やホテルの子の世話をしに行かないといけなくて、確実な休みを取れないから。
休憩がちゃんと取れない日もありますし、シフト通りの時間に帰れない。
給料もバラバラでボーナスがない為節約をしないと生活が大変
給与、有休等の待遇面。
給与が安く、休みもないため生きていけないから。
給与が職務内容と見合わない。
給与が低い
給与が低い、拘束時間が長い、休みが他の職業より少ないため。
給与が低い。同じ時間の拘束ならもう少し良い仕事があると感じてしまうため。
給与が低いなど待遇面でライフスタイルに合わない。
給与の問題。
給与面、労働時間が長い、体力面。
給料、雇用形態、福利厚生などが仕事量や求められる技術に見合っていない。あくまで生活のために仕事をしているので、いくら好きでも将来を考えると続けられない。
給料・ボーナスが安い、拘束時間が長い、仕事量が多い。
給料が安い。一人暮らしをやってけない給料だから。
給料が安い 拘束時間が長い。
給料が安い。一人暮らしをやってけない給料だから。
労働時間が長い。
給料が安い、一人暮らしができない。
給料が安い。一人暮らしをやってけない給料だから。
給料が安くてやっていけない。
給料が安すぎて安定した生活を送れない為。
給料が安すぎる。
給料が一般的な社会人よりも低いため。
給料が勤務内容に対して低いと思うから。
給料が少ない。
8年も働いているのに全然給料が少ない。
給料が少ない。
給料が少なすぎて割りに合わない。
給料が上がらない。
給料が低い、対人関係がきつい。
給料が低い。今後どこまで上がるか不安。
給料が低いから。
給料が低いのにそこまでしてやらなければいけない魅力を感じない。
給料が低く、将来が不安。
給料が低くて生活に不安があるため。
給料が低すぎる。
給料が低すぎる、残業代がない。
給料と勤務内容が釣り合っていないため。
給料と仕事内容が合わない。
給料などの待遇が労働に見合わないと感じるから。
給料の割に仕事がハード。
給料の面で不可能だから。
給料や時間外手当が出ないなど色々不満。
給料安い、怪我する、福利厚生がなってない。
給料低い。
給料面。
労働時間が長い。
給料面が安定していないため。
給料面と若い世代が多い。
勤務形態がきついため。
勤務時間が長い。
給与が少ない。
勤務時間が長く、体力的にも辛い。

勤務時間が長く忙しいわりに給料が少ない。バイト(違う仕事)で働いた方が同じ時間でも稼げるとおもう。
勤務時間が長すぎる。その割に収入が少なすぎる。
勤務時間が長すぎる。給料も勤務時間に見合っていない。
勤務時間が長すぎるわりに給料がそれほどでもない。
勤務時間と給料があってないから。
勤務時間長い上に給与が安い。
個人経営だと給料が安い割に拘束時間が長い。
厚生年金がないのが不安。休みが無さすぎる。
拘束時間がながい。
拘束時間が給料に見合わない。
拘束時間が長い。
拘束時間が長い。休めない。
拘束時間が長い。給料が低い。
拘束時間が長い。深夜まで残業がある。
拘束時間が長いうえに給料が安い。ブラック企業である。
拘束時間が長いと、ずっと続けるのは難しい。
拘束時間が長いのに給料が少なく、子供もいるので家事育児仕事全部できると思わないから。
拘束時間が長い割には、給料が安い。
拘束時間が長い割に低賃金だから。
拘束時間が長く自分の時間が少ない。
拘束時間が長く収入が低い。
拘束時間が長すぎて年齢が上がるにつれ辛くなってきた。去年は帰りの通勤中に居眠り運転で事故を起こしたりもした。
拘束時間が長すぎる為。
拘束時間と収入が釣り合わない。
拘束時間も長く、体力的にも難しいと感じている。
拘束時間長い、人間関係がキツイ、給料安い、技術力がある、出産したら続けられない。
勤務時間の拘束時間が長く、ほとんど休日出勤で、休日が無い。事務仕事は持ち帰りややるしかない。その割に給料が安く、業務内容や勤務時間に見合わない。福利厚生も個人病院だと厚生年金、社会保険に加入してくれない所が多い。こんなブラックな業界で長く勤務する人がいるのか。私は死にたくなくて辞めました。
残業代が出ない。
仕事にやりがいを感じるが、安定した収入ではないから。また、資格等関係なく誰でもできる職業でとても良いが、資格を持った人々の利益が少なく、できる仕事もまちまちであるから。
仕事は好きだけど、給与面からずっと続けられる仕事ではない。
仕事内容、労働時間に対しての給料が低いから。
仕事内容が辛く、給料が安いから。
仕事内容と給料が割に合わない。
仕事内容と給料面が合わない。
仕事内容に対して給料が少ないから。
仕事内容に対して給料が少なく、あまりにも割りに合わなすぎるので。仕事内容は専門的な内容のものからそうでないものまで多岐にわたるし汚い事も多い。学校を卒業して資格を取ったにもかかわらず初任給は16万程度。時給に換算すると、学生バイトと同じくらいかほんの少し高いくらい。17万以上の高いところは、エキゾチックアニマルの診察をしたり、夜間診療をしたり、忙しくてお昼の時間は少なく残業当たり前。割りに合わなすぎて全く働きたいと思えないです。
仕事内容の割にお給料が低いから。
仕事内容の割には月給が低すぎる。
仕事内容はとても好きなのですが、勤務時間が長いので年齢的、体力的に限界があると思う。
仕事内容や勤務時間の割に給与や休日が割に合わない。
仕事内容等に不満はないが、給料の面では限界があると思うので家庭を持ったら働き続けるのは難しいのではないかと思う。
仕事量と給料が見合っていない。
仕事量と給料が釣り合わず体力的にもキツイ。
仕事量に対して給料が少ない。
仕事量に対して給料が釣り合わない。責任が重すぎてプレッシャーがかかりストレスばかりたまる。
仕事量のわりに給料が低い。でも、20年以上無我夢中でやってきたので、国家資格を取ったら辞めたい。
仕事量の割りに給料が合わない。
将来性
将来的な生活を維持するには、現状長く続けていくのは困難なため。
将来的に不安。
時間が長い。
時間の約束ができない
収入が時間に見合っていないし休みが少ない
収入が低いのと、やりがいを感じない。
収入が低く、家庭を持ってない。
収入面からも見て一生続けられる仕事ではないと思うから。
収入面の不安。

就業時間、仕事内容に対して給料が少なすぎる為。今後、子供が出来たら生活が不安な為。
就業時間が長いから。
賞与や時間外手当が、きちんとないため。
賃金が安く貯金がたまらない。子供ができれば続けられない。
賃金が安く暮らしていけないため。
賃金と労働環境の不釣り合い。
賃金の安さに対して、拘束時間が長い。
賃金もあまり良くないし、来てくれる動物に対して見る側が一生懸命ではないと感じてるから。
低賃金。
低賃金であり、高齢になっての募集は少ない(35歳まで等が多い)結婚しなければ一人で生きていき両親の介護等する事が難しい。本当の意味で独り立ちできない。
労働と給料が見合っていないから。
労働と収入が見合わない。
労働環境の過酷さ。見合わない収入。やりがい搾取。
労働基準法に違反した動物病院ばかりで、獣医は動物看護師を軽んじ、長時間労働低賃金で働かせてもいいと考えている。召使いのように使われ、人権を失ったかのように働くのはキツすぎた。動物看護師を守ってくれる法や規制、組合がない。
労働拘束時間に対して給料が少ない。
労働時間が長い、一生続けられる仕事と思わない。
労働時間が長い、給与が低い、専門性が低くやりがいがない。
労働時間が長い為、精神的、身体的に辛いから。
労働時間が長い割に給料が安く、体力的にも疲れている。
労働時間が長く、給料が低い、休みが取れない。
労働時間が長すぎる。
労働時間と給与面の不満。
労働時間や内容と給料が釣り合わない。
労働中の怪我、パワハラなどが原因。
労力・時間的拘束と待遇が見合わないため。
とても忙しくて大変な上に勤務時間も長く、その割に給料が少ないため。
ハードな割に給料が安く労働時間が長い。
休みが少ない。
拘束時間がかなり長いにも関わらず給料が少ない。プライベートの時間も少ない。
仕事の大変さに反して給料が安すぎる。
辛い。低給。
体力。休日。給料。
体力に限界がある。
体力や勤務時間的に厳しい。
体力や視力、記憶力に限界を感じつつあります為。
体力的な問題、就業時間の問題、給与が安い、休暇が取りにくい。
体力的にきつい、労働時間、仕事内容が多い割に給料が安い。
体力的にキツイし収入が心もとない。
体力的にしんどくなる。
体力的にもどこかで区切りを付けるべき。だと思ってるから。
体力的にも精神的にもかなり大変。現在の職場では夜間勤務もあり、生活リズムも崩れる。専門的知識も要求されるこの仕事で、給料は全体的にかなり安い。報酬もない。仕事内容と給与が見合わない為長くは続けられないと感じています。
体力的に厳しい。
体力的に限界があるので無理だと思った段階で切り捨てます。
体力的に続けられないので、近いうちに現場を離れマネジメントの方に転向しようと考えています。
体力的に大変。
体力的に難しい。
体力面がもたない。
待遇が悪い。
待遇面に不満がある。
大変な割に給料が少ない。人の看護師と同じくらいの給料でもいいと思う。
職場が家から遠いから。
貯金に回せるお金が少なく、将来が不安なので結婚を機に退職したい。
朝早く出勤し、夜遅くに退勤する。遅い日は24時を越えることもあり、生活習慣がまともではない。また、休憩時間が15分程度の日がほとんどで、まともな休憩時間が取れない(3月から11月頃)。12月は少しましにはなるがそれでもまともな1時間の休憩が取れず…。疲労、ストレスが溜まり、生活に支障をきたしている。年末年始、夏休み休暇などがなく、仕事付の毎日。有給休暇も働き方改革が始まった？ため2019年から取り入れられた。それまでは有給休暇がなく、また次年に持ち越せないため不満、スタッフ同士、先生とスタッフの関係は特に問題なく和気藹々としているが、仕事の内容がハード。自分の時間があまり無く、仕事付の毎日の為将来が不安でしかない。結婚後も続けられるかと言われると、無理だと即答できる(子供などができた場合は特に)今年で3年目になるが健康診断なども今年しかしたことがなく、会社側からの福利厚生が不満。残業代も出ているが、それが果たして正確な値段なのかもよくわからず…。全体的に不満でしかないため。

長い目で見て体力的にキツイから。
長らく事務職をしており、動物看護に関する知識や技術が薄れたため。
動物病院の賃金や勤務・雇用形態、福利厚生に不安があるため。
冷静に考えてこの勤務時間、給料では生活できない。
この職業のみで一人で一生を全うできる収入は得られないし、年金保障もない
さまざまな感染症や怪我をするリスク等が常についてまわるため、それに見合った給料を支給してほしい。ボーナス等もあっていいと思う。
12年勤務した後輩スタッフが即日解雇・退職金も規定がないと言われ支払われず、勤務病院での動物看護師としての未来と希望がなくなりました。が、動物看護師としては、いい勤務先が見つかり次第転職したいと思っています。
専門性の高い仕事だが、待遇が良くない。
動物看護の仕事自体は好きですが、拘束時間の長さや給与の低さが釣り合いませぬ。生活出来ませぬ。
動物看護師の待遇が良くない。長期勤めてきたが、他の動物病院でも同じように働けるかは別問題だと思うので。
幅広い仕事内容なのに給料が少ない
福利厚生がないから。
シフト制、育休などがないため
仕事量の多さと給料の少なさ。体力が追いつかない。
プライベートとの両立が難しく、一生懸命働きたいと思えば思う程、時間が足りなくなる。給与が高くないので、生活が厳しい。年齢的・体力的にきつくなった。ずっと願っていた国家資格化が、現職の動物看護師には不利としか感じない。
結婚して子どもができた時に今の待遇と給料ではさすがに働かないから
今の職場に変わって丸4年、給料が一銭も上がらないから。
若い時はいいが、労働時間や給与、休みがとりにくい点で女性が一生働くには厳しいと思う
少なくとも今の職場では思わない。拘束時間が長すぎるので。
命を預かり残業しかない割に給料が安い
命を預かる仕事なのに給料が安い
やりがいは非常に感じるが、その分仕事量も多く新たな所などでまた始めるのは難しい。
やりがいをもてない。
ルーティンの仕事で将来性がない。
育休、産休がない為長く続けられる仕事ではない。また有休も選べず週6日間勤務で、仕事内容と給料が見合っていない。
一生働き続けるには無理がある。勤務状況が一般企業以下だと思う
今の職場は雇用形態など非常に良いと思うが、やはり動物病院全体的に条件がよくなく、時間外もよくあるので体力的にも厳しいから。
自分の健康やペットとの時間を犠牲にしなければいけない労働環境のため。
社会保険に入っていなかったり給料が安いから。
当たり前のようにある残業。休憩時間がない。人間関係でもめる。低賃金。
動物病院それぞれで違いがありすぎる。
年齢的にキツイのと今の病院の福利厚生が不満。かといって今更今更別の病院に移る気にならない。
分野を学んで行く中で、どうしても適していない分野があったため。
命を扱う責任が大きい仕事なのに資格を持っていても個人病院では給料が割りに合わなすぎる。
30歳を超えると体力的にしんどいから。60歳まで続けられる仕事ではないから。
きつい
一生続けられない。
今勤務している職場は残業時間もたくさんあるので、家族と過ごせる時間が少ない。仕事内容にはやりがいを感じているが、環境が悪いので今の職場は続けられないと思っています。
仕事は好きだが私生活が犠牲になりすぎるため、いい歳なので自分を大切にできる環境へ移りたい。
職場環境の改善がなければ。
何も変わらないから。
加齢により体力的にも出来る事が限られてしまう為。
家計や勤務時間を優先しなければならぬので、職業に拘ってられないため。
50代60代でも続けられる自信がないため。育児休暇などの制度を実施している病院が少ないため。
国家資格ではなく、業務も人間の看護師と違いグレーな部分が多い。
高齢になったため。
どんなに続けても役職がつくわけでもない。
人が常に不足している など。
育児と両立できる勤務形態ではない、体制が整っていない為。
体力的にしんどい。
人間関係・ハラスメント、自身のメンタルに関するもの
ストレスで体調崩す。
たくさんの動物の生死と向き合う自信が無い。
どこを目指せばよいか、わからなくなった。
精神的にきつい。
精神的にも肉体的にもしんどい。
精神的理由。
死と向き合うのがつらい。

責任が重い。
責任感の強い職業だから。
体力・精神的に、若いうちしか難しいと感じるため。
限界を感じている。また国家資格に受かる自信が全く無い。
パワハラ、やりがい搾取、低賃金、3K、国家資格でもなくていくらでも変えがきくと獣医に馬鹿にされる仕事を続けたいと思わなかったからです。
パワハラや、資格を持っていない方が求められていると感じたから。
ストレスが多い。
少ない人数の中で、人間関係が辛い。
緊迫感に耐えられない。
今の勤務先が少人数で人間関係が難しいため。
手術室が怖い。
獣医師が怖いです。うちの動物病院だけとは思いますが。
人間関係。
人間関係で悩むことが多い。
想像以上に過酷で続けられない。
命の現場が辛い。緊急時、手術に立ち会いたくない。
女性同士の争いがあり、非常に不愉快。
人間関係もしんどい。
院長と院長の奥さんの喧嘩があってしんどい。
先輩のパワハラ。
動物看護師の人間性を無視した発言が多く、長く続けたいと言う思いが持てない。
個人企業が多いためワンマンな先生が多く、動物看護師を育てる事をしていない。
1人しか居ないので具合悪くても無理をしないといけないので精神的に辛い。
辞めて精神的に安定した。
夫婦で経営している動物病院や、住居と隣接している動物病院だと、夫婦間(家族間)の不和が業務にかなり影響する。業務中に夫婦喧嘩になったりする。夫婦喧嘩後など、職場の雰囲気最悪になる。
以前勤務していた動物病院の院長が、色々業務をごまかしていた。それを奥さんに伝えたところ、パワハラをうけた。
やっていける気がしない。
やってみて違うと思ったから。
逆らえない事を分かっているように使われ、辞められても次の替えがいるから問題にならない。離職率が高いのも納得。
専門職というが誰でもできる唯一の専門職。
動物看護の仕事をしたい！と思わなくなったから。
先生が気分屋で当られてツライことがある。
動物看護師仲間が欲しい。相談できない。
興味がない。
やりたいことが出来ない。
向いてない。
向いてないと思ったから。
今の職場であまりいい思いをしていないから。動物看護師は楽しいが職場がダメなら続けようとは思わない。
今の動物病院がブラックなので辞めたいのですが、今の動物病院が病院としてあまり良い病院ではないので仕事内容は楽ですが、それに慣れてしまっても他の動物病院では働けないです。
仕事内容が激務で難しいのに対して社会的認知が低く獣医師や飼主様からの圧力が強い。
死に近すぎるから。
飼い主対応が苦手に向いていないと感じるから。
自分に合っていないかった。
自分のやりたいことではない。
自分の失敗1つで周りに迷惑をかけてきた事もあったり、働いてるうちに自分に向いてない職業だと分かったから。
辞めたいから。
手早くそして正確に仕事をしなくてはならない。小さなミスも許されない緊張感。毎日生き物の死を見続ける辛さ。野良の対応。
獣医師との格差があるから。何かしら獣医師が優遇され、看護師は理念に合わないなら辞めても構わないという考えの病院が多い。
獣医師と同じカリキュラムを学んできたわけでもないのに、あれができない、これができないと思われたり、言われたりするの苦痛。
残業は必ずあるし、休憩とれない時もあるので、体も心も疲れます。退職金もない病院が多いようですし、一生続けるには、なかなか難しい職業だと感じます。
獣医師と対等ではないため文句を言われたりするの嫌だから。また、給料的に男性がやっていくには厳しいから。
獣医師への不満。
女性が多いので精神的にくる事が多々ある。特に院長の奥さんや、先輩動物看護師。
辛い仕事でもあるから。
正確には迷っている状況。基本的に年収が良いと言える職業ではないので、現在の職場のようなそれなりに給与面が良いが勤務時間、個人にかかる負担が多い場所でやっていく上であれば体力面、そうでない職場であれば当然給与面が心配。かといって、転職には一歩踏み出せず。
続けるか、転職か考えている最中。
体調的にも体力的にも、辛い。給料が安すぎて将来性を考えると早くに転職すべき(転職も厳しいですが…)

大変だから。
達成感がない。
転職を考えてるから。
動物看護職以外の動物系の職業継続が長いから。
毎日がすごくつらい。ストレスが半端ない。
魅力がなくなった。休みが取れない。
遣り甲斐を感じなくなった
実際に就職し働いてみて、経済的・肉体的・精神的に定年まで健康に、安定して働き続けられるイメージが湧かなかったから。
理想と現実についていけなくなって辛くなったから。
理想と現実の違いを感じた為。本当に動物の為に何かしたいと考えた時、動物看護師でいるのは最善ではないと感じた為。
<b>結婚や育児に関するもの</b>
結婚したら家族との時間がなくなるため、家族との時間を大切にしたいから。
結婚したら続けるのは難しいと思うから
結婚したら続けるのは難しい仕事だと思うから
結婚や出産など将来のことを考えるとやめなきゃいけない時がある
結婚や出産をすると働き方や給料、休みなど希望に添えない、調整することが難しいことが多いと思うので。
結婚後家庭との両立が難しい為。
結婚後続ける自信は無い。
子供がまだ小さく時間的にも体力的にも働くのが厳しくなってきた。拘束時間、仕事量が給料と合わない。
命の現場だと子供を理由に簡単に休んだり、抜けたりしにくいから。
将来、妊娠出産した後に勤めるのが難しいから。
妊娠、子育てと両立できない
子供が産まれてからだと働きづらい仕事だと思うからです。
妊娠を機に辞めた後に要請があり再度同じ職場に復帰しました。小さな動物病院だったので仕方ない面もありますが、仕事と育児を両立した結果ストレスと過労で体を壊しました。また、働き方改革というこのご時世に不釣り合いなほど休みの少ない、従業員への配慮もなく悪い方で昔ながらの環境であったと思います。13年ほど動物病院で働いてきましたが、動物業界の離職率の高さは働く環境の問題が一番だと強く感じたので、雇用する側が変わっていくことは非常に大切だと思います。少なくとも今後動物業界には戻りたくないと思うほど、頑張りが過ぎたなど感じて居ます。
上になるほど、それ以上の人はあまり見かけない。
<b>「愛玩動物看護師法」に関するもの</b>
国家資格化になると出来る仕事制限される。
国家資格化はするが、今後の職場での待遇も変わらないため、わざわざ自らお金を払い資格を取得してまで働こうと思わないから。今から勉強をして国家資格をとりたい、と思えるほどの情熱がわいてこない。
国家資格化に対しまだ様子を見ているため。
国家資格ではないので他の動物病院には転職できない。
ありえない！国家資格の受験資格がもらえるというので、専門学校はでてなかったの、勤務年数で認定試験を受けて合格したのに、結局、国家資格になって、受験するのに専門学校出てないからまた受験する前にテストがあるなんて！騙された！これは認定試験を受けてない勤務年数3年以上の人も国家資格の前にテストを受けて合格すれば国家資格受けれるなんて、認定試験はなんだったのかと怒りが湧いてくる。あの時間とお金を返してほしい。
<b>自身の都合・方針・考えによるもの</b>
ある程度の技術や知識を付けたら起業したいから。
トリマーとしての道を行こうと思い始めたので。でも、看護師の仕事も好きなので、条件の合う職場があれば働いてみたい。
トリマーなので。
トリマーのほうが楽しいから。
グルーミングを主とする仕事をしているため。
本業がペットトリマーだから。
トリミングの方に興味が出たので。
もう十分やり切ったので。
違う仕事がしたい。
違う仕事に興味があるから。
違う仕事もしてみたい。
違う職業にも興味があるため。
違う職種が自分に合っていると思ったから。
違う職場なら続けたいと思うのかもしれませんが。
まだ具体的には考えていませんが、他の職種への転職にも興味があるため。
企業で資格を活かし働いているから。
資格とったら学校などに勤務してみたい。
教育の仕事をしており、現在の職業で、満足しているから。
現在、動物を扱う系教育者として、勤務しているため(=教師)。
人間の看護専門学校に入学するため。
専門学校教師への転職。
他にやりたいことがあるため。
他の仕事もしてみたい。

他の職業に興味があるから。
他の職業もしたい。
動物看護教員をしているため。
動物看護師の資格があるトリマーとして開業したいから。
独立したいから。
別の事がしたい。
次は違うところで働きたいから。
一生続けていくつもりはないので。
飼い主さまのご自宅に訪問して活動したいから。
自営業のため。
診療業務に専念したいから。
その他
周囲のペットを飼っている人から、動物病院に通っているのにちっとも治らなかつたり誤診をされたりという話をよく聞く。
1年目で自分にあっているのかわからない。
獣医師として、働いているから。
アレルギーがあるから。
職業としては良くない。
医療行為ができないから。
院長の将来のビジョンの中に私達はいなかった。
現段階では誰でもできる仕事なので。

Q. 31 愛玩動物看護師の免許を取得したいですか？

○ 現在、動物病院に勤務している動物看護師 1200 人の回答

ぜひ取得したい	1005 人	83.8%
取得は考えていない	195 人	16.3%

○ 上記の 1200 人のうち、認定動物看護師の資格を有している 1016 人の回答

ぜひ取得したい	878 人	86.4%
取得は考えていない	138 人	13.6%

Q. 31-2 取得は考えていない、その理由は？ ※取得は考えていないと回答した 138 人の回答

動物看護師の仕事が続けない、辞める、など転職や離職、仕事への意欲に関するもの
5年後までこの仕事をしているとは思わないから。
VTはもう考えていない。
あと何年かでこの職業を辞めようと思っているし、持っていないでも給与面での変化はないので。
この先続けていくかわからないから。
ずっと続けていける仕事じゃないからいらぬ。
その頃まで動物看護師をしているかわからないため。続けていたら取得してみたいと思う。
その時はこの仕事をしていないかもしれないから。
その前に転職するため。
もう動物看護師として働かないから。
もう動物業界に戻りたいと思わないから。
異職種に転職予定。
違う仕事がいい。
一生やるつもりがないから。
一生動物看護師の仕事をしよとは思わない。
動物看護師を続けるか不明。
動物看護師を続ける気がないから。
高齢のため間もなくリタイヤする。
今の仕事を続けるつもりがない為。
今後この仕事を続けたいと思っていないから。取得しても意味がない。
今後は別の仕事をするため。
今後長期就業するつもりはないので、今更必要ない。
今後動物看護師として働くつもりがない。

今後動物看護師に戻る予定がない為。
今後動物病院で働くことはないと思うから。
今後動物病院で働く事を考えていないから。
再就職の予定がない為。
仕事に付く予定はない。
仕事を続けてないかもしれない為。
辞めたいと考えているため。
辞めることを考えているから。
就職しないから。
続けるかわからないから。
続けるのかわからない。
続ける気がないから。
退職年齢になるので。
転職するので。
転職を考えてるから。
働かないから。
働きたくないから。
動物看護師として働くつもりが無いため。
動物看護師として働く気がないから。
動物看護師に復職するつもりがない為。
動物看護師をこれからも続けるか迷ってるから。
動物看護師を続けたいから。
動物看護師を続けようと思っていないから。
動物関係の職に就くことはないと思うから。
動物業界にはもう入らない。
動物病院で働きたくない。
動物病院で働く予定がないから。
動物病院で働こうと思っていないから。
年齢的に動物看護師としての1線を退いていて、経理等がメインになっているため。
年齢的にもうそんなに長く働けると思わないから。
離職期間が長いこと、自分が高年齢であることから、難易度が高いため。
資格を取得する意欲、勉強する動機、時間、費用、その他の理由
1から勉強し直して受かる気がしない。
1度受けたが落ちてしまった。専門学校に行っていないので理解できない問題もあって独学では難しい。
2年専門で勉強し2年動物病院で働いた経験が、貴重だったとも思えるが無駄だったとも思ってしまうから。
5年も勤務した後に講習会受講と予備試験合格と国家試験合格が必要と聞いているので無理だと思いました。
続けるのであれば取得したいし、そうでなければ必要ない。
アニテクだけトリミングメインなので。
あまり必要性を感じないからです。
あまり役立ちそうに思わない、必要性がない、必要とする大きな動物病院は数少ない。
いらない。
お金がかかる。
このまま昇給が無いのなら辞めることも検討しているから。
この仕事に将来性がないから 看護師の変わりは獣医ができる。
この職業に戻る自信がない。
この先再就職は無いのでメリットとして考えられる物が無い。
この先動物看護師として働いていく自信や体力が無い為と、この資格で企業する気もありませんし、今の病院で持って居てもプラスになるように思えない為。
これからの人に期待します。資格も大切ですが人としての常識や社会人としての心構えのある人材を育成するのが大切だと思います。
これから勉強を始める気力がない。
セミナーや勉強会に参加する時間が取れないかも。
その必要がないから。
たくさんものを犠牲にして資格を取得したとしても、それに見合う給与が与えられるとは思えない。
トリミングをメインにしたい。
なくてもできる仕事はある。
なくとも困らない。
ブランクが長い為。
また一から勉強するのが面倒くさいため。
まだ決めてない。
まだ明確にされていないことが多い、これから何年動物看護師として働くか分からない、資格取得にも費用がかかりそう。
まだ迷っている。



めんどくさい。
よくわからない。
わからない。
愛玩動物看護師の資格を取得することを、必要としている動物病院が少ないから。
一生続けられない。
何も変わらない。
学びたい気持ちはあるが、取得したときの年齢を考えてしまう。
動物看護の学校をでていないため最初から学び直しとなると年齢を考えてつらいかなと感じてしまうため。
動物看護の仕事をしように考えてないから。
動物看護師として働く予定は無いため。
動物看護師の資格を持っていないから。
動物看護師の資格を有し、年齢を考えると取得は不要。
動物看護師をやめるつもりなので、自力で取得するのも面倒なので。
技術を求められるようになるだけで、働く環境が変わるとは思えない、期待できない。
給与形態が変わらないと思うから。
給料が、かわらなさそう。
給料が上がるわけではない。無意味。
去年統一の資格を取ったばかりだし、仕事をしながら勉強も両立できる自信がないから。
勤務している動物病院で扱う動物が特殊なため、試験の為の勉強よりは仕事の為の勉強をしたい。
結婚して勤務形態が変わったから。
検討中。
現在、退職を考えているため 退職するならば取得しないと思います。
現在の仕事もあるため、資格取得のために勉強をする時間を作れない。
現在は別の職種に就いており、ブランクがあるため。
現在動物看護師として勤務していないから。
現時点において筆記試験などが必須な場合に勉強に充てる時間が取れないため。
現場では働いているものの、また一から勉強し直さなきゃいけないのはむり。動物看護師資格を取得している人には、何かしらの優遇は必要だと思います。国家になったのは嬉しいけど、そこで学んだことが、そのまま働く職場で生かせるとは限らない。給料も変わらないのであれば取得は考えられない。
現状では、資格は無意味だから。
限界を感じているから。
好きな仕事ではありますが、重労働低賃金休日少なく体がきついため、そのタイミングで退職を考えています。
考えていないと言うより、今の時点ではわからない。認定動物看護師の資格取ったのに、それが全く優遇されない事についても当初の話と違うと思ったし、国家資格の勉強を仕事しながらしていかないといけないのはしんどい。せつかくだから他の事を始めるいい機会かなと思っている。
国家試験が行われる頃には60歳を越えるので、今更国家試験の受験は無駄だと思う。
国家試験となると難しそうだから。
国家資格がなくても働いているから。最初に動物看護師試験を受けた時も難しくて大変でした。移行した時も本当に大変だったのに今度は国家試験。また一から試験のやり直し。これからの人はいいが、中堅の私達は国家資格になると大変です。充分働いているので国家資格はもう受けるつもりはないです。
国家資格と統一資格の違い、国家資格でないといけないメリットがわからない。
国家資格になったとして何がかわるのかわからない。結局給料も拘束時間も変わらないだろうしメリットがわからない。デメリットは同じような資格の試験を何回も受けてお金ばかりかかること。年会費もかかったりした。でも、これから正社員として動物看護師になる子たちのために絶対国家資格になった方がいいと思う。国家資格を持ってるというだけで強いと思う。
国家資格になるときの年齢の問題、と待遇はよくなるだろうなという思いから。
国家資格になる時期にまだ働き続けているとは思えないからです。働いていたら取得しようと思います。
国家資格の勉強をする時間もない。認定資格を持つて人が、また試験を受ける意味がわからない。
国家資格を取っても給料があがるわけではないし仕事内容が変わるわけでもないの。
今から試験勉強をすることは、時間的にも能力的にも考えられない。
今から取得しても年齢的に雇用してもらえる病院が無さそうだから。
今さら。
今のままで十分だから。
今の仕事をしていて、勉強までできそうにない。年齢的にもし資格を取っても、定年があるので意味があるのかどうかわからない。
今の状態で満足しているから。
今の職場以外で働くつもりはない、今の職場以外で資格を持っていたとしても働けるか疑問。
今は必要ないと思っているから
今までより高度な技術を要求されても、宮崎の田舎だとなかなか学ぶ機会がないのが現実。獣医師からも、国家資格をとるならそれなりの技術を身につけ責任をもつように言われている。今の給料でも満足しているので、これ以上獣医師(雇い主)に金銭的負担をかけたくない。国家資格になり、何のメリットがあるのかわからない。デメリットしか思い付かない。
今更感。
今更取得しなくても、今までの経験キャリアで通用するから。
今更遅い。
今更面倒だから。
今持つてる資格に意味がないと感じるから。
今働いている動物病院の規模では、取得したところでやる事は変わらないし、院長の意識も低いから。

今働いてる動物病院の規模では、取得したところでやる事は変わらないし、院長の意識も低いため。
今満足してるため。
産後の為考えられない、仕事は復帰できる自信はあるけど、試験に合格できる自信が無い。勉強する時間も取れない。
仕事が忙しい。
仕事でいっぱいいっぱい受ける自信がない。
仕事と家事があり、勉強の時間が取れない事と、講習会があっても、会場が遠いので行けない。
仕事に対して迷走中の為。
仕事上必要であれば、取得を考えるが試験勉強等行う時間がないため。
仕事内容が変わらないから。
始めに認定動物看護師の資格ができたときと話が違う。
子育てで勉強する時間があるか不明なため。
試験が無理そうだから。
試験を受けに行く時間がない。
試験を受ける資格がないため。
試験開始が2023年ということもあり、その時の年齢を考えるとどうなんだろう??と考える。
試験勉強する時間、試験会場が遠いといける余裕がないので。
試験勉強と実際の病院とは必要な知識が違うため、今の自分が試験を受けて通用すると思えないため。
資格を取ったとしても給料が変わらないから。
資格を取っても、給料など待遇が大きく変わるとは思わないから。
資格を取り直しがめんどくさい。
資格を取得したところで、職場での待遇も変わらず、病院からの資格の補助の費用も出ないため。
資格を取得したところで待遇は何一つ変わらないのでお金と時間をかけて今さら取得する理由が無い為。
資格を取得しても待遇面に期待できないから。
資格化される時まで続けているか分からない。
資格取得しなくても今のまま、今の場所で働けるから。
時間がない。
時間と費用面。
時間と労力が必要なため。
実際に実施されるまでに自分が仕事を続けているか分からないので、現段階では取得を考えていない。
取ったところで給与や待遇が上がるわけでもないのに仕事量と責任が多くなるだけなので必要と感じない。法律的に都合のいい動物看護師が増えるだけ。
取っても給料が変わらないから。
取っても給料に反映されないし動物看護師を続けていこうとも思っていない。
取らなくてもきっと動物看護師はできると思うから。
取れるものならば取りたいですが、子供の勉強も見てやれない、親としてのあり方を考えないと、二度と戻らない大事な子育て期間をなくしてまで試験を受けるべきとは考えられません。私からすれば今まで通りで良かったのに、と言うのが本音です。
取得したからといって、仕事内容が変わることはないと思うから。もし仮に取得したからといっても採血など、未経験なものにもかかわらず、おこなうことはできない。練習する場や動物などの問題があると思う。
取得したところで、給料は増えず、仕事内容も変わらない。また、新卒で動物看護師の資格をもってるからといって、格段に仕事が出来るわけでもないため。
取得したところで、労働環境が変わるわけではなく、負担が増える気がする。
取得したところでヒトの看護師くらいまで給料が上がるか鮮明でない
取得したところで給料は変わらない
取得したところで今までと仕事内容や質や量は変わらないのに、待遇(給料など)が改善される確約がない。雇い主(獣医)の意識改革も必要。実際のところ、認定看護師の資格を取得したのに、無資格の人との仕事内容の差異は無く、待遇面などでも得た事はないので…。国家試験を受けるにあたって、認定資格取得者や長い間現場で働いてきた現職者に対し、講習会だの予備試験だの受けさせるのはいかなるものか?時間とお金を費やして取得した認定動物看護師資格は何だったのか?
取得したところで待遇が変わるわけではないから。
取得したら給料が上がるのであれば受けたいですが、変わらないのであれば別にやりたい事があるので、次の事に集中したい。
取得した事で業務内容、給与など、何かが変わるとは考えられない。動物看護師を雇っている獣医師は、動物看護師への雇用形態を良くしようとは思っていない。給料が上がるのであれば取得を検討したい。
取得しても給料は上がらないから。
取得しても待遇が変わらなければ意味が無い。
取得して何になるの?って思います。国家資格になったからって給料が変わるところも少ないだろうし、あまり扱いが変わらないと思うから。
取得して給与面あがるなら取得しても良いと思うが、このままなら無くても良い。仕事の責任が増えるだけ。
取得しなきゃならないなら転職するから。
取得するかなやんでいる。
取得することで給料が劇的に多くもらえるのであればやりたいと思うが、給料が変わらないのであれば3歳と4歳の子供の子育てをめぐって勉強しようとは思わない。
取得までの勉強が大変そう。
取得しても仕事量が増えるだけで給与はそこまで期待が出来ないため。
取得要件がまだ定かでは無いので、架空の問いには答えられない。取得可能だったら取得を目指す。あと、問いのフォームの関係で動物看護師として働いていないと回答したが、経営者かつ動物看護師も兼任している。

受ける時間がない。
収入が低く、続ける見込みがないため。
獣医だから。
獣医師という人間が信用できない。よって、もう動物病院に勤務したいとは思わない。
獣医師の先生方の期待が薄すぎる。
出産を機に退職し職を変えるため。
資格を取得しても給料は高くなるとは限らない。仕事が増えるだけで一層、忙しくなる。
小さい子供が居る、フルタイムで働いているので勉強やセミナー参加が難しい。
職場が資格の有無によって待遇が変わらないから。
生活できない。
責任が重い。
折角とったのに 国家資格に移行しないのはどうかと思う。
専門をでてないので。
他の資格を考えている。
待遇が変わらないと思うから。
知らなかった。
統一の資格はどうなるんですか？
統一試験の時に取得までの料金が高額だった。
働きながら国家資格が取れるとは思えない、働きながら勉強する時間がとれない。
働きながら資格取得の勉強ができると思えないから。
動物看護に関する知識・技術が薄れている状態で、国家資格受験勉強が捗るとは考えにくい。また、受験勉強を経て国家資格を得られたとしても、動物関連業において国家資格者としての責任を果たせるような仕事ができるとは思えないため。
動物看護師の養成の専門学校や大学を卒業していないから。
動物看護師として、今後働くことはないと思うから。
動物看護師の認定で十分。
特に必要と感じないため。
独占業務の内容が軽すぎて資格取得の必要性を感じない。
難しいから。
認定看護師の資格持ったら免除があるって言うてたから移行期間に取り直したのに全く意味がないから。
認定試験をしなくてよかったんじゃないか。騙された気分です。
認定資格持っても国家資格になる時には受験し直さないといけないから。
認定動物看護師を取る際に、国家資格化したら試験を受けずに済むと説明されたから。
認定動物看護師資格を取得した事を無かったことにされてしまうのは如何なものかと。時間も金銭もかけての取得でしたので。国家資格として再取得した事による価値や優遇措置等など理解していないので考えていません。
年のせいにはしたくはないが もうなかなか勉強しても覚えられず 母子家庭で勉強の時間もなかなか取れず 職場も人手不足で 毎日がヘトヘトで 寝落ちの日々…取得できる自信がありません…。
年齢が高い。
年齢的に。
年齢的に考えて、資格を取ってもその先何年も働けないから。
年齢的に若くないので。
必要性がわからないから。
必要性が疑問。
必要性をあまり感じない。
必要性を感じない。
勉強が嫌い。
勉強したくない。
勉強している時間があるかどうかわからない。
勉強している時間がない。
勉強する時間がない。
勉強する時間が取れないので、受験しても受かる気がしない。
勉強に時間が取れない。
勉強時間がとれない。
本業がペットリマーだから。
無くても働ける、待遇は変わらない。
迷っている。
面倒くさい。
夜遅くまで仕事なので、勉強する時間がない。
理不尽だから。

一般社団法人 日本動物看護職協会

〒114-0015 東京都北区中里 1-15-4 情報館 3 階  
TEL 03-5834-7758 / FAX 03-5834-7759 <http://www.jvna.or.jp/>

©JVNA 2020 掲載の内容を無断で複製、転載することを禁じます。